



愛知陸協広報

第28号

平成25年1月1日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

専務理事 外山 幸男

今シーズンのトラックの競技会・事業は予定どおり終了することができました。ご協力に感謝申し上げます。

隣県で開催の「ぎふ清流国体」の県代表の成績は、4×100mリレーにおいて女子2位、男子5位入賞と最終日まで「チーム愛知」の力を発揮しました。また、成年男子400mと同男子110mHでの優勝をはじめとする個人種目での活躍もあり、天皇杯は僅差の5位、皇后杯は4位と予想どおりの力を発揮できました。今年の東京国体では頂点を目標したいと思います。

第72回愛知陸上競技選手権の2日目に陸協表彰をおこない、日本記録樹立表彰、日本陸連中学優秀選手章、高校優秀選手章の伝達と、長年愛知陸協に尽力された地区陸協推薦の7名の方々を表彰しました。第55回東海陸上競技選手権においては、4年毎に表彰があり、愛知陸協からは9名の方々が表彰されました。

新潟の全国高校総体は男子のべ47種目、女子のべ35種目に出場し、優勝1名、3位3名を始めたべ15種目の入賞でした。千葉での第39回全日本中学校陸上競技選手権には47名が出場し、入賞者は7名でした。全国小学生交流大会は4×100mで男子2位、女子6位を始め、6種目に入賞しました。ジュニアオリンピック大会では県選抜チームの4×100mリレーにおいて、女子が3位、男子は1/100秒差で2位、また個人種目では、男子200m2位、100m3位、女子800m3位とB・Cクラスの入賞が多く、来年瑞穂で開催の全日本中学校選手権での活躍が期待できます。

日本ジュニア・ユース選手権大会は愛知での3年目を開催しました。大会前日は雨の中での練習と準備になり試合当日の天候、気温が心配されましたが、大会3日間は例年以上の暖かさに恵まれました。競技の結果は、ジュニア日本新1・大会新2、ユース日本最高2・大会新13・大会タイ2が誕生しました。向かい風が吹くコンディションもありましたが、満足できる大会でした。愛知の選手では、2年連続優勝しJOCジュニアオリンピックカップ受賞の男子ハンマー投と、男子ユース棒高跳の2種目に優勝する活躍がありました。招待リレーに出場の小学生男子4×100mで日本最高記録が誕生しました。

日本代表としての世界大会出場は、ロンドンオリンピック代表選手5名とコーチ・トレーナー2名が参加。アジアジュニア選手権（スリランカ：コロombo）に選手3名が出場。世界ジュニア選手権（スペイン：バルセロナ）に選手2名と団長・コーチ・トレーナー3名が参加。世界ハーフマラソン（ブルガリア：カバルナ）に選手1名がそれぞれ出場しました。

愛知陸協トレーナー部会からは、ロンドンオリンピックと世界ジュニア選手権に日本代表として2名が派遣されました。全国的に見てもその活躍は顕著です。日頃から県の大会に限らず、国体・全国大会においても、トレーナーのコンディショニングにより、県選手団の実力が発揮できる支えになっていることに感謝するとともに、今後のさらなる活躍を期待します。

今年度の審判員養成は、審判資格取得講習会を5月と10月に審判委員会が実施し、新たに57名の審判員が誕生しました。

新城の雨で行なわれた第61回愛知県中学校駅伝では、男女各50チームの参加があり、豊川市立東部中学校が男女ともに優勝を飾り、全国大会の切符を獲得しました。愛知県高等学校駅伝は、女子は全国大会4度目の優勝を目指す豊川高校が連覇し、男子も豊川高校が出場権を獲得しました。都大路でのアベック優勝を期待しています。昨年から会場を田原市に移して開催された第52回中部実業団駅伝は、トヨタ紡織が新コースでの優勝を果たしました。

12月の理事会において、都道府県対抗女子駅伝（京都）・男子駅伝（広島）の選手団が決定。昨年の男女入賞をステップに今年は優勝を目標に「たすき」を繋いでくれることを期待しています。

日本陸連主催キッズプロジェクト「夢の陸上キャラバン隊」を名古屋市立橘小学校で開催。全校児童と保護者もオリンピック選手の技術の高さに驚き、選手とのふれあいに感激しました。

名古屋ウィメンズマラソンは昨年の成功のもと第2回を開催します。女性の出走者数世界一のマラソンとして、ギネス世界記録に認定されました。IAAFの大会ラベリングでは、ゴールドの大会として海外からも注目される大会になります。今年は申込初日に15000人の定員に達して締め切り、エリートの申込も12月に開始しました。前回は引き続き競技役員、ボランティアとして大会運営にご協力をお願いします。

今年度の登録者は中学生7459名、高校生7285名、一般3347名、大学生1030名、小学生友の会1580名と年々増加しています。

「陸上愛知」の復活を目標に、今年も選手強化、競技会運営に一層のご協力をお願いします。

専門委員会報告

総務委員会

3月1日より開始した平成24年度の登録も高校を除き11月末で終了しており、昨年の登録総数に比べ1600名ほど増加しておりました。内訳を見ると若い層の中学、高校の増加が顕著であり、協会としては底辺の拡大を課題の一つと考えており、大変有り難く思っております。12月14日(金)に総務委員会を開催し、登録の集計作業をはじめ、反省及び来年度の課題等について話し合いました。特にWeb化も2年目に入り定着してきたものの、難解なチーム名の名称問題や登録期間、ロードレース登録問題について意見が出されました。今後は3月のウィメンズマラソンを中心に、2月の名岐駅伝、犬山ハーフマラソンの大会準備に追われる日々となります。

1月13日(日)の全国都道府県対抗女子駅伝では、今年も応援バスツアーを計画しております。多くの方の参加を募り全国優勝に寄与したいと思います。ご協力をお願いします。(稲垣 裕)

競技・情報処理委員会

2012年10月に開催された、日本ジュニア・ユース選手権大会へのご協力ありがとうございました。愛知での開催が3回目になり、これまでにさまざまな課題が解決されました。来年度の大会に向けて、さらなる課題を克服し、より良い大会運営を行なえるように委員会でも反省点を検討中です。

現在、競技委員会では様々なロードレースの準備を行ないながら、来年度の競技会日程を調整しています。全国大会や東海大会の日程を基本とし、県大会や地区大会を編成していきます。特に瑞穂陸上競技場では、Jリーグとの関係もあり制約された条件の中で、大会の重なりが無いことはもちろんですが、競技場の改修工事や競技者の利便性などを考慮し競技日程を決めています。さらに瑞穂陸上競技場で全国大会や東海大会が複数開催される年は、競技場の日程も混みあい、調整は困難を極めます。

2013年度は、愛知開催が4年連続となる日本ジュニア・ユース選手権大会に加え、8月に全日本中学校陸上競技選手権大会と東海中学総体、10月末には東海高校新人大会が開催されます。県レベルや地区レベルの大会日程に影響が出ないようにしていくのですが、日程の変更や会場の変更をお願いしなければならない大会もあると思われます。ご理解、ご協力のほど、よろしく申し上げます。

地元で大きい大会を開催し一流のアスリートの競技を愛知の競技者に見せることは、モチベーションを高め、競技力の向上にもつながることと思われます。競技運営や準備などへのご協力よろしく申し上げます。

(安田 純久)

施設・用器具委員会

(1)瑞穂北陸上競技場 20年振りの大改修

昨今の厳しい財政状況の中、名古屋市教育委員会スポーツ振興課の努力で、北陸の全天候舗装部分の全面改修の予

算が付き、12月から3月末にかけて工事が行なわれます。今後数回に渡り綿密な打合せ会議が予定されています。下記の写真は日頃見られない貴重なものです。



(2)検定関係

2012年度検定

- ①豊田市運動公園陸上競技場検定 2種(8/4、5)
- ②蒲郡市公園陸上競技場検定 4種(8/10、11)
- ③瑞穂公園北陸上競技場検定 3種(3月下旬予定)
- ④至学館大学陸上競技場検定 4種(3月下旬予定)
- ⑤梅村学園室内棒高跳場公認延期願い

2013年度以降の予定

()内は公認期間

- ①中京大学付帯豊田ハンマー投てき場
(~2013.9.30)以降公認から外れる予定
- ②中日豊橋ハーフマラソンコース(~2014.3.19)廃止の予定
- ③県一宮総合運動場 (~2014.3.31)3種継続検定
- ④瑞穂公園陸上競技場 (~2014.6.30)1種継続検定
- ⑤岡崎陸上競技場 (~2014.6.29)4種継続検定
- ⑥ウェーブスタジアム刈谷陸上競技場(~2014.8.4)3種継続検定
(青木 実)

審判委員会

2012年度の競技会も残り僅かとなりました。競技会最大規模のマラソンフェスティバルを3月9日に控え、各委員会や担当者が準備に追われています。どうかご協力をお願いします。

今年度も新たに57名の審判員がB級公認審判試験に合格をし、2013年4月より公認審判員として活動していただきます。すでに補助審判員として、日本ジュニア・ユース大会や愛知駅伝などに協力をしていただきました。マラソンフェスティバルにも協力をしていただく予定です。温かい目で、親切なご指導をお願いします。

まだ、マラソンフェスティバルに出席の返事を出していない方や欠席で出たが出席できるようになった方、お友達、知り合いで協力をいただける審判員がいましたら、是非お誘いください。連絡は愛知陸協事務所か審判委員長榊原 茂、各地区の審判委員会委員までよろしく申し上げます。(榊原 茂)

選手強化委員会

第67回岐阜国体の結果報告と分析

「リレーがチーム力だよ。リレーを強くする指導者になれよ」昨年ご逝去された元市邨学園高校の指導者であった

クラブ紹介② にとTFC



にとTFCは名古屋市を拠点とし、名古屋工業大学陸上競技部のOB・OGが陸上競技を続けるために2005年に発足しました。発足当初は10名程度でしたが、現在は30名が在籍し、にとTFCのロゴ そのうち22名が陸協登録者として各大会に出場しています。にとTFCのチーム名は、名古屋工業大学の英名(Nagoya Institute of Technology)の頭文字“NIT”から“にと”のチーム名となりました。わがクラブチームでは、名古屋工業大学陸上競技部のOB・OGだけでなく、陸上競技をこよなく愛する社会人の方なら誰でも参加することができ、上は50歳から下は20歳まで幅広い年齢層で構成されています。社会人ともなると様々な制約があり、陸上競技を続けたくてもなかなかその環境が見つからないのが現状ですが、「でもやっぱり陸上が好きだから、がんばって時間を作って楽しく汗を流したい!」という、熱い思いを秘めた方々が多く集っています。年齢・職場に関係なく、趣味として陸上競技を続けたい人から競技として真剣に取り組みたい人、また、blankがあるが復帰したい人のように陸上競技から離れていた人など参加理由は様々です。このように陸上競技を通じて自分自身の向上や多くの人々との交流の場としてのチームであります。

主な練習拠点は名古屋工業大学の千種グラウンドで、同大学陸上競技部とともに練習しています。基本的に週1回、毎週土曜日を練習日としていますが、中には平日夜に仕事帰りに競技場で自主練習



千種グラウンドでの練習後、集合写真

永田勝利先生が新米コーチの私に指針を与えてくださった言葉です。リレーの力は県の陸上競技力に繋がるという確信の下でジュニアから国体へと道筋を作り、今シーズンはそれが愛知に根付いた年でした。国体のリレーは少年ABと成年2選手の県代表から構成されます。最終日男女共に決勝のスタートラインに立てたのは愛知と神奈川だけでした。

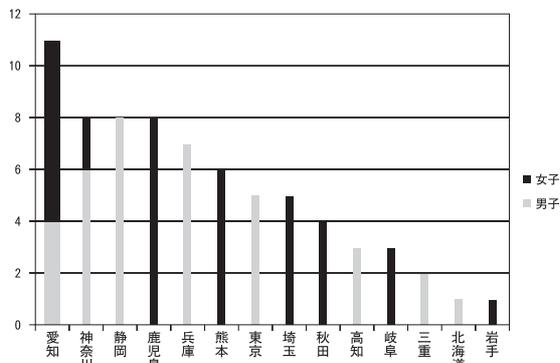


表1 岐阜国体男女リレー得点結果

リレーを含む短距離総得点でも愛知は第1位でした。さらにジュニアオリンピック県代表チームの結果を国体結果と加算したのが表2です。

をしたり、自宅近所の道路で走ったりしています。

社会人チームとしては珍しく、短距離、長距離、跳躍から投擲までさまざまな種目の選手が所属しており、マスターズ県記録保持者からフルマラソンで2時間半を切る選手、東海選手権に出場した選手もいます。去年は女性としてチームで初めて東海選手権の出場権を獲得することができ、女性も男性に負けず日々練習に取り組んでいます。種目は様々ですが、チーム一丸となって、各自の目標が達成できるように頑張っています。



女性アスリートも活躍中

チームの1年間の活動としては、1月に年会で今期のメンバー紹介や1年の目標を立て、3月のトラックシーズン直前には合宿や砂浜練習を行ないます。4月のシーズンイン後は、各大会に参加しています。夏には、懇親会としてバーベキューを行ったり、種目に関係なくリレーマラソンに参加してチームの結束を高めたりもしています。トラックシーズンが終わり長距離シーズンが到来すると、チーム一丸となり各駅伝大会に出場して、名岐駅伝出場を目指しています。そして年末には、1年間の結果を発表してチーム新記録の表彰を行っています。

今後も陸上競技を通じて多くの人々と交流できる社会人チームとして、目標に向けてチーム一丸となり陸上競技を続けていけるクラブチームでありたいと思います。

最後に、チーム紹介の機会をくださった愛知陸協の皆様

に感謝を申し上げます。

< HP アドレス <http://www.geocities.jp/nittfc/> >

(代表 森 貴美)

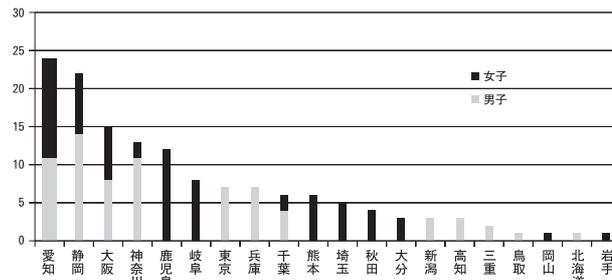


表2 ジュニアオリンピックと国体リレー結果を得点化した順位

国体、ジュニアオリンピックで男女共決勝に進出した県は愛知のみでした。この結果から愛知の競技力は全国トップクラスであると言えます。今回の国体上位6県は全てリレーで決勝進出を果たしました。一方で順位予想の1位の大阪はリレーを落とし、順位を大きく後退させました。昨年の分析で全中出場者数と国体順位の相関について報告しましたが、リレーと国体順位も関係が深いことが分析により分かりました。

国体代表からオリンピック代表へと強化の目標を達成した3名のオリンピック選手を中心として編成した今年度のチーム愛知は、善戦したものの、昨年同様僅かの差で総合優勝を逃しました。しかし、チーム愛知構想は軌道に乗り、優勝を狙える県として来年度に引き継がれるものとなりました。

昨年は合宿から選手ミーティングを採用し、選手間のコミュニケーション作りを重視しました。その中心となったのがオリンピック代表選手である中野弘幸主将(愛知教育大院)。自己の経験やメンタル面に至るまで幅広い話題を提供してくれました。合宿中から選手の先頭に立ち、意気を昂揚する姿勢は競技者の鏡と言えるものでした。自身の結果も国体2連覇とセカンドベスト記録で目標を達成しました。愛知選手として初出場となった古川裕太郎選手(小島プレス)は、勤務終了後合宿にスーツ姿で駆けつけミーティングに参加する姿勢を見せてくれました。この優勝した2人の成年選手の競技に対する真摯さは少年選手のお手本となるだけでなく、チーム作りに大きく寄与してくれました。

チーム作りのためもうひとつ重視したのが愛知ウェアの着用です。スタッフ、選手ともに紺、黄色の愛知カラーでデザインしたウェアを必ず着用することです。代表ウェアに自信と誇りを持つ選手、コーチが増えた証となりました。

ジュニアオリンピック県代表から国体代表へとリレーの強化策は進み好結果を生んでいます。今後はそれをリレー以外の種目にも波及させることが県全体の強化に繋がるものと考えています。

大会期間中激励に駆けつけてくださった愛知陸協の皆様、支援コーチの先生方、深夜まで選手ケアに携わってくださったトレーナーの皆さん、各選手所属の監督・コーチの皆様には厚く御礼申し上げます。

上位入賞選手についてはP8～9の岐阜国体参戦記で報告します。(北村 肇)

記録委員会

各地域陸協の記録委員長をはじめとする記録担当者の協力により、この1年で120を超える競技会について報告を受け、全て公認記録としての申請を済ませることができました。

整理済みの記録は8月にチェックを終え、12月から1月上旬までに高校は野口一昭氏、中学は名倉喜三郎氏の作成したランキング表と照合し、1年分について再チェックし10傑表の作成をします。日本陸連や陸上競技専門誌等への資料を報告します。そして、愛知陸協2012年分記録集の作成に入ります。新記録等の確認、県記録表の修正、10傑平均記録計算等に細心の注意を払い再度のチェックを済ませ印刷に入ります。3月上旬には発行の予定です。

◎広報第27号以降、確認した県記録等

愛知新記録

男子 4×400mR 3.06.14 中京大
(中村明彦、屋貝博文、安井一樹、田村朋也)

第81回日本学生対校(国立)9月12日

棒高跳 山本 聖途(中京大)

5.50 第50回東海選手権(伊勢)8月26日

5.50 第45回西三河選手権(刈谷)10月6日

5.65 日本学生新記録

第52回実業団・学生対抗(小田原)10月14日

女子 10000mW 46.44.68 占部 磨美(三菱自動車岡崎)

第60回全日本実業団対抗選手権(博多の森)9月22日

愛知タイ記録

男子 棒高跳 5.40 山本 聖途(中京大)

第39回東海学生秋季選手権(豊川)10月27日

愛知ジュニア新記録・日本ジュニア新記録

男子 ハンマー投(6.000kg) 68.94 墨 訓熙(中京大)

第28回日本ジュニア選手権(瑞穂)10月21日

愛知高校新記録

男子 5000mW 20.46.58 山田 康太(愛知)

第67回国民体育大会(長良川)10月8日

女子 棒高跳 3.41 佐藤 愛(中京大中京)

平成24年度名古屋南支部高校新人大会 OP(瑞穂)9月9日

愛知高校タイ記録

女子 棒高跳 佐藤 愛(中京大中京)

3.40 平成24年度愛知県高等学校新人大会(瑞穂)9月29日

3.40 第6回日本ユース選手権大会(瑞穂)10月19日

愛知中学新記録

男子 4×400mR 3.34.42 御幸山

(大澤京介、小川 奏、伊藤智也、林 裕人)

第3回エコパトラックゲームズ(小笠山)11月3日

女子 4×400mR 4.04.12 御幸山

(岩田帆乃夏、清水爽加、向井智春、白田菜々花)

第3回エコパトラックゲームズ(小笠山)11月3日

四種競技 2708 遠山 実希(香流)

(14.95(+1.3) -1.42 -11.84 -27.45(+0.2))

第17回エブリバディ・デカスロン in 愛知(知多)11月10日

愛知小学生最高

男子 80mH 12.01(+1.9) 蔵田 源貴(なごや陸上ク)

愛知県小学生選手権(瑞穂)11月3日

4×100mR 48.87 日本小学生最高 安城 JAC

(朝倉拓海、松下隆之介、戸田健太、ダニエル川口)

日本ジュニア・ユース選手権招待(瑞穂)10月20日

女子 80mH 12.80(+1.0) 蛭川 夏未(成岩SC)

第28回全国小学生交流大会(日産スタジアム)8月25日

ソフトボール投(1号) 65.68 高田 爽矢(成岩SC)

第28回全国小学生交流大会(日産スタジアム)8月25日

(岡田 武彦)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

(1)瑞穂運動場主催「ふれあい陸上教室」が、地区陸協の運営指導により、本競技場で7月～11月に10回実施されました。年々募集段階で希望者が増え、抽選して参加者を限定しています。対応するために、若い指導者の養成が課題です。

ふれあい陸上教室



名古屋市内の小中学生250名を対象に名古屋市ジュニアスポーツ教室「ふれあい陸上教室」を瑞穂陸上競技場で行なっています。平成9年から始まったこの教室は、昨年で16年目を迎え、延べ4,000人の子どもたちに指導してきました。この中から、全国小学生陸上競技交流大会(日清カップ)や東海小学生リレー選手権大会で活躍した選手だけでなく、中学校・高等学校で活躍する選手をたくさん送り出しています。指導者は、名古屋市内小中学校の教員と大学生が中心ですが、ここ数年、この教室の卒業生が指導者として帰ってきてくれるようになりました。(大矢 新吾)

(2)名古屋地区11月理事会が23名の参加で、11月27日(火)18:30~20:30に瑞穂陸上競技場会議室で開催されました。課題の多い名古屋地区では、各理事の努力で少しずつ課題の解決に前進しています。

<協議事項>

- 1 平成24年度名古屋地区会計中間報告
- 2 平成25年度名古屋地区競技会日程案
- 3 年度内総会開催についての検討
 - * 瑞穂陸上競技場で、名古屋地区審判伝達講習会・精密機器実技講習会同時開催を、3月22日(金)23日(土)、29日(金)30日(土)で会場と調整中
- 4 名古屋地区公認競技会開催についてのお願(申請と報告)
 - * 要項、審判編成、リザルト
- 5 平成24年度愛知県体育協会表彰候補者推薦について
- 6 平成24年度審判昇格・日本陸連各栄賞候補者推薦について
- 7 平成24年度名古屋地区栄賞候補者推薦について
- 8 平成25・26年度名古屋地区役員案
- 9 その他

<報告事項>

- 1 11月県理事会報告
- 2 名古屋地区審判報償の配付について
- 3 マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2013について
 - ①審判員(名古屋地区)への参加の呼びかけ
 - ②ボランティア募集について
- 4 各委員会の組織化(メンバー一覧の作成)
- 5 陸上教室
- 6 平成25年度名古屋地区競技会要項案作成について
- 7 名古屋市民スポーツ祭の種目検討
 - * 来年度有料オープン種目(ナイター開催)の検討
- 8 会計中間監査の実施について
- 9 専門委員会活動報告

(青木 実)

尾張陸上競技協会

地区陸協の今

尾張陸上競技協会として発足1年目。事業内容や運営に特段の変化はないが、新しい組織の出発の年として各役員・理事各位も決意を新たにされた船出であった。

たとえば選手強化・普及事業の一環として従来は愛知陸協の支部組織として陸上教室が企画、運営され、事業自体が県陸協の管轄下にあるという発想で行なわれていたが、移管され独自に企画・運営されるようになった。

ただ地区陸協としての組織の見直しや改善については検討課題であり、県陸協でも理事や役員の数や役割分担といった見直し作業が行なわれたが、尾張陸協においては平成24年度までは従来の組織構成になっている。今後人事面を含めて役員・理事・委員会組織のあり方や職務内容等内規も含めて検討していく。

平成24年度事業は関係者の方々の献身的な働きによって、大過なく進んでいる。残すところ1月開催の第60回尾張駅伝と12月から実施される4回の陸上教室を残すのみになった。共催事業も残されているが、まずは感謝を申し上げたい。

今年度は昨年度に比較してやや全国大会への出場が少なかったような印象である。選手の皆さん、指導者の皆さん、さらに高みをめざしてください。ご奮闘を期待しています。(原川 豪)

西三河陸上競技協会

今夏のロンドンオリンピックに西三河陸協登録の選手4名と当地区出身のトレーナーが出場しました。

結果等につきましては前号にて紹介されました。そこで、今回は出場された方々に「ロンドンオリンピックと今後の抱負」と題し原稿をいただきました。

☆中野弘幸 (安城・東山中→名古屋高→愛知教育大・院)

私の2012年のシーズンは間もなく終わろうとしています。シーズンを通して、大きな故障をしたりスランプに陥ったりしなかったのも、家族をはじめ、いつも支えてくださる皆様のご理解とご協力があったからに他なりません。この場を借りて御礼申し上げます。

ロンドン五輪を経て、取材やインタビューの際に「五輪の経験が競技に対する姿勢にどのような影響を与えたか」という旨の質問をされるが増えました。しかし、私は五輪に出場したことによって、自分自身の陸上に対する想いや価値観が大きく変化したということはありません。ただ純粋に、これからも大好きな陸上競技を続けていきたいです。

私は小・中学校では勉強はクラス下位でしたが陸上を続けることで五輪出場を目標にすることができました。この実体験を基に、来春から教壇に立たせていただく身として、一人でも多くの子どもたちに「好きな事を続けることが、大きな目標を持つことに繋がる」ということを伝えたいと思っています。

☆中村明彦 (岡崎・六ツ美北中→岡崎城西高→中京大)

ロンドンオリンピックではたくさんの応援ありがとうございました。

残念ながら、本番では思うような結果が残せず悔しい気持ち・申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ただ、スタートしてからは8万人の歓声の中、無我夢中で走る50秒間は何にも代え難い時間でした。競技後「戦うべくしてスタートラインに立たなければ勝負できない」と思いました。

今はまだ苦い思い出ですが、将来「ロンドンが糧となって頑張れた。良い経験だった」と笑って言えるようにこれからも邁進してまいります。

今後はリオデジャネイロオリンピックに十種競技で、欲を言うなら400mHも合わせて出場し、十種競技で戦っている姿・勝負している姿を応援して下さった方々に見せられるよう頑張ります。

☆市川華菜 (豊田・豊南中→岡崎城西高→中京大)

ロンドンオリンピックでは4×100mRに出場しました。去年の世界陸上では走ることができず悔しい思いをしたので、オリンピックの舞台に立ちたいという気持ちが強かったぶんメンバーに選ばれた時はとても嬉しかったです。オリンピック会場はスタンドが人で全部埋めつくされ、歓声がとても大きく驚きました。結果としては悔しい思いがありますが、この最高の舞台で走ることができたことは、自

学校紹介⑮ 御幸山中学校 県中総体女子総合優勝

今回は、夏の県中総体女子の部で総合優勝を果たした御幸山中学校を訪問しました。11月3日に静岡県で行なわれたエコパトラックゲームズでは、4×400mRで男女とも愛知県の中学最高記録を更新(男子3.34.42 女子4.04.12)してもいますし、愛知選手権では3人が女子の棒高跳で入賞を果たしてもいます。転勤して2年目でここまで力をつけて来られた谷口直土先生、そしてほのぼのと生徒たちを支えていらっしゃる栗田 智先生へのインタビュー、また目にした実際のトレーニングを通して得られた強さの秘密を紙面の許すかぎり紹介します。



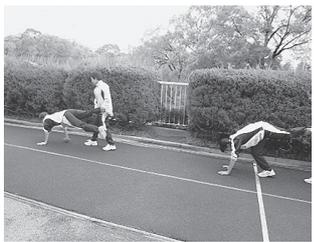
校舎脇の走路

一つめは、立地条件です。校舎が標高差50mの高台にありますから、下の通りから校舎に入るまでが日常のトレーニングになっているようです。正門に近づく坂道の最後は斜度が30度ぐらいあるように思われたほどです。東門から入るにしても50段ほどの階段を登らなければなりませんので、日常生活がトレーニングになっていると言っても過言ではありません。校舎周辺の坂道や階段はトレーニングにもうまくり入れられているのですから、まさに「地の利」と言ってもいいでしょう。

二つめは、他校との交流です。合同練習をすることで御幸山中学校とは異なる雰囲気を感じることができたり、他校の良さを吸収することができたりして、大きな刺激になっているとのことでした。県内の高校や他県の中学校などもその範囲に含まれているのだそうです。高校のグラウンドに出向いたり、福井県の中学校を県営一宮総合運動場に招いたりして行なっているとのことでした。谷口先生からは、「刺激を受けるとともに、大きな大会に出場してももの怖じしない心持ちが養われている」とのお話がありました。

他校との交流ばかりでなく、合宿を行なっていることも成果につながっているようです。県や名古屋市の強化指定選手になって合宿に参加することもありますが、これ以外に年に1~2回合宿に参加している生徒もいるとのことでした。他県の中学校と合同で行なったり、高校の寮を利用して行なったりしてきたと谷口先生はおっしゃっていました。武者修行と言ってもよい練習計画の中で、生徒たちの意識が高いものになっているのだらうと強く思われました。

次に、練習内容そのものから得られた点を紹介します。一つめは、練習の中心にドリルが置かれていることです。ダイナミックストレッチはもちろんのこと、フレキハードルを利用したドリルなど練習の3分の1程度がドリルに費やされていました。谷口先生はドリルの中にハイテクドリルを取り入れているとおっしゃっていましたが、これはハイテクAC(福島千里選手が所属しているクラブ)が行なっているドリルのことです。中学生段階では動きづくりに時間をさくことが必要不可欠のことですし、ハイテクドリルは日本記録を生み出したトレーニングと言ってもいいのですから、動き作りにはもってこいのものです。



手押し車

二つめは、体幹トレーニングを中心にした補強運動です。谷口先生の信念は、自分の体をきちんとコントロールできずに記録が出せるはずがないというものです。あし上げ腹筋(これは深腹筋を鍛えて速く走れるようになるとNHKの『ためしてガッテン』でも紹介されていました)を含めて、腹筋は連続30回5種目×2セット。谷口先生は「女子でも腹筋が割れているのがうちの自慢です」とおっしゃっていました。手押し車も補助者が片脚だけを支えるという特別の形でしたし、校舎の壁を利用した逆立ちも単なる逆立ちではなく手押し車のように足を壁につけたまま前に進み、また壁の側に戻って地面と垂直になるという見慣れないものでした。一つ一つの補強運動がよく考えら

れ、効果の上がるものになっているなどというのが私の実感です。

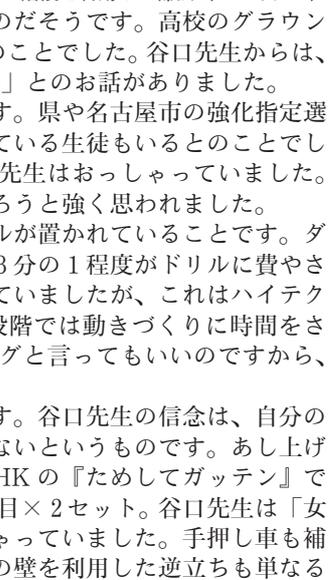
三つめは、練習後のケアです。故障してしまうとトレーニングが積みませんから、強い学校はどこもこの点に留意していますが、御幸山中には特徴が2点あります。一つは、名古屋市の制度(15歳まで無料)を利用して学校近くの治療院に回数多く通っていることです。二つめは、谷口先生が懇意にしてもらっているとおっしゃっていた京都の治療院の指導を受けていることです。練習後のストレッチ体操の中には、その治療院の先生から指導を受けた種目が入っていると谷口先生はおっしゃっていました。また階段の脇には小石を敷き詰めた10mほどの施設があるのですが、これは、練習後に行なうケアの一環としてのものでした。足裏を刺激して疲労の回復を図るというわけです。谷口先生の手作りだそうで、私は先生の選手を強くしようとする意欲だけでなく選手への深い愛情を感じました。



小石のケア・ロード



階段を利用した補強(スパイダー)



倒立

来年度の御幸山中学校の目標は、第一に県中総体男女アベック総合優勝。第二に4×400mR男女アベック日本中学最高記録(男子:3.25.5 女子:3.54.88)の更新です。1、2年生で70名を超える部員数(3学年では108名でした)を武器に、是非とも頑張ってもらいたいものです。そして、谷口先生と栗田先生との二人三脚で、御幸山中学校を愛知の牽引役に育てていただきたいものです。

(取材・文責 大西敏功 写真 野口一昭)

分自身大きな成長ができたと思います。次の4年後のオリンピックでは個人種目で出場できるように頑張りたいと思います。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。今後も今以上に陸上を楽しみ、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

☆山本聖途 (岡崎・岩津中→岡崎城西高→中京大)

まずはじめに、応援ありがとうございました。皆様方に支えられ無事オリンピックを終えました。オリンピックは初の海外遠征で戸惑いがありましたが、岡崎城西高校の先輩が2人出場するという事で、不安になった時など毎回背中を押していただき、無事万全な状態で試合に挑むことができました。しかし、世界の壁は厚く思うような動きができず、自分に負けてしまいました。

しかし、ただ試合をしてきただけではなく、海外の選手の生活、試合前の練習方法、食事風景などを見て今後の陸上生活に対して、すごく刺激を受け勉強することができました。

今後の活動としては、海外の練習に参加させてもらった遠征に行ったりと経験を積み、4年後のリオデジャネイロではより大きく成長した山本聖途を見ていただけるよう、活動していきます。応援よろしくお願いいたします。

☆後藤 勤 (岡崎・竜南中→岡崎北高→中京大→佐藤鍼灸院)

この度、私はロンドンオリンピック陸上競技の日本選手団トレーナーとして帯同してきました。

高校時代に「トレーナーになってオリンピックへ行く」という夢を抱き20年かけてようやく実現することができました。

これも高校時代よりお世話になった先生方をはじめ、今まで関わってきた全ての皆様のお陰だと感謝しております。

オリンピックは、スタジアム、選手村、すべてが今まで経験したどの大会よりも規模が大きく、素晴らしいものでした。

現地では日本選手はもちろんのこと、世界のトップ選手たちの4年に一度の大舞台にかけける思いを肌で感じながらトレーナーとして活動することができ、とても幸せな時間でした。また今回は西三河出身の選手が多く出場し、一緒にオリンピックを戦うことができ嬉しく思います。

今後は第一線から退きますが、オリンピックで経験したものを多くの人達に伝え、地元の西三河から次のオリンピック選手が続くように少しでも力になりたいと思っています。



以上のように、出場された選手諸君は今後も競技活動を続けていかれます。地元陸協といたしまして、微力ですが応援を続けていきます。次のオリンピックには是非4名そろって、いや、それ以上の選手が、出場し活躍してくれることを期待しています。

(櫻井 一美)

東三河陸上競技協会

中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会東三河地区(田原市)で開催される

第52回中部・第42回北陸実業団対抗駅伝競走大会(中部・北陸実業団陸上競技連盟主催)が東三河地区の田原市で11月18日(日)に行なわれました。四半世紀に渡って岐阜県金山町(現下呂市)にて行なわれていましたが、昨年から田原市にその舞台が移りました。

ご存知のように本大会は、2013年1月1日に群馬県で行なわれる「ニューイヤー駅伝」の出場権を中部・北陸実業団連盟に所属するチームで争う予選会です。

開催に当たり、実業団連盟事務局・田原市・東三河陸上競技協会は3年前から関係諸機関と連絡・調整を重ねて念願の開催に漕ぎ着けました。実業団連盟の強化策の一貫として「ニューイヤー駅伝」において中部・北陸実業団連盟に所属するチームが上位で戦える事ができるようなコース(風・アップダウン・応援等)を模索していたところ、実業団連盟の長期に渡る準備と田原市長の並々ならぬご支援で決定され、平成24年6月6日に記者発表となりました。そのコースは、田原市の伊良湖岬クリスタルポルト前をスタート、風光明媚な三河湾沿岸、太平洋沿岸の国道42号線、青々としたキャベツ畑、初冬の陽光にきらめくガラス温室、田原市役所を中心とする市内を縫いながら、フィニッシュのはなとき通りを目指す7区間85.7kmに設定しました。

田原市単独の駅伝大会開催は初めてで、不安もありましたが、東三河陸上競技協会役員160名、田原市民らのボランティア約1200名、中部・北陸実業団OB約30名、地元商工会・警備員約160名、田原署・愛知県警約100名の協力を得、更に18000人に及ぶ沿道での田原市民の応援も得て成功裡に終了することができました。

本大会実施に当たって田原市民の思いは熱く、全国各地で行なわれている各種の駅伝大会でこれ程地域に密着し、多くの市民が支える大会はそう多くはないかと思えます。

この田原市における第1回大会が起爆剤となり、中部・北陸実業団駅伝大会運営と競技実績が全国への発信地となり、より一層「EKIDEN」熱が広まればと期待いたしております。

(夏目 輝久)

関係団体報告

小学生友の会



11月22日(木)名古屋市立橋小学校にて日本陸連主催の「JAAFキッズアスリートプロジェクト 夢のキッズキャラバン」が開催されました。当日は市川華葉(中京大)・中村明彦(中京大)・荒川大輔(NOBY T&F CLUB)・村上幸史(スズキ浜松アスリートクラブ)の4名の選手に來校していただき、デモンストレーションや子どもたちへの実技指導をしていただきました。

競技場で競技を見るよりも近いところから見学できるこ

岐阜国体参戦記

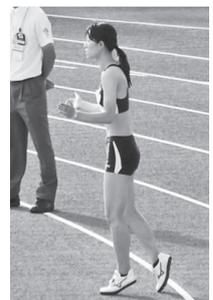


チーム愛知 ご声援ありがとうございました。

成年女子走り高跳 第2位

名古屋市立名東高等学校教員 松本明日美

国体というのは、いくつかある全国大会の中でも、中高生から社会人が同じチームメイトとなって対抗戦を戦うという、他にはない楽しさを持っている大会だと思います。その中でも今年の愛知県はオリンピック選手が3人も出場し、県の雰囲気を引っ張ってくれました。私自身も刺激をもらいましたし、中高生にとってもこの上ない環境だったのではないのでしょうか。またオリンピック選手たちは、陸上に対する情熱や集中力を背中で見せてくれましたが、普段の生活では親しみやすく、楽しい大学生でした。おかげで緩急のバランスがとてもいい雰囲気の中、試合に挑むことができました。私自身の競技結果は2位でしたが、この結果が残せたのも、愛知県チームの雰囲気に支えられたおかげだと思っています。また来年もこのチームに所属し、国体を戦いたいと思っています。



少年男子 5000m 競歩 第2位

愛知高校 山田 康太



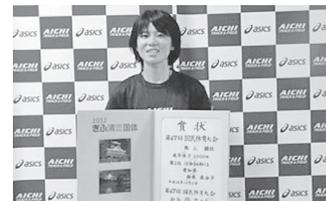
国体に出場することは、高校一年生の時からの大きな目標でした。今回の国体を通して、多くの人と出会い、学び、そして様々な経験をさせていただきました。7月に行なわれたインターハイで上位入賞を逃し、そのリベンジをしようという気持ちで臨んだ国体でした。僕が出場した5000m競歩では、周りの方々の応援やサポート、指導して下さった監督の支えがあって、準優勝という結果を残すことができました。優勝を目の前にして、逃してしまったことはとても残念でしたが、インターハイのリベンジと、愛知県に7得点貢献することができたので、とても嬉しく思っています。来年度からは少年の部から成年の部になり、さらに上のレベルでの勝負ができるので、今年もまた愛知県代表として国体に出場し、愛知県に貢献できるようになりたいと思います。



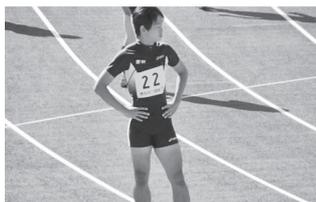
成年男子 400m 優勝中野選手：独特な首振りフォームからの追い上げ



成年男子 110mH 優勝の古川選手 (小島プレス)



成年女子 5000m 第2位になった鈴木亜由子選手 (名古屋大学)



少年男子 B 200m 第2位の村瀬翔太選手 (中京大中京高校)



成年少年共通 400mR 第2位の子供チーム。第2走者の市川選手 (中京大学) は成年女子 100m 第3位、第4走者の丹羽選手は少年 A100m 第7位



少年男子 A 5000m 第3位平選手 (豊川工高校) の力走



少年女子 A 走幅跳 第3位浅井選手 (光ヶ丘女子) 中央

第67回 岐阜国体愛知県選手団競技成績一覧表

男女総合(天皇杯) 5位 99.5点 女子総合(皇后杯) 4位 51点

種別	種目	氏名	所属	記録	結果	得点	備考
成年男子	100m	屋貝 博文	中京大		棄権		
	400m	中野 弘幸	愛知教育大院	45.82	優勝	8	
	10000mW	木村 洋介	順天堂大	44.04.57	12位		
	110mH	古川裕太郎	小島プレス	13.81	優勝	8	
	400mH	中村 明彦	中京大	51.32	7位	2	
	走高跳	舟瀬 勇太	名古屋デジタル	2.09	7位	1.5	7位タイ2名
	走幅跳	木村 友紀	春日井中部中 教員	7.50	11位		
	ハンマー投	久保 浩司	中京大クラブ	59.20	11位		
成年女子	100m	市川 華菜	中京大	11.83	3位	6	
	5000m	鈴木亜由子	名古屋大	15.34.15	2位	7	
	10000mW	占部 磨美	三菱自動車岡崎	失格			
	走高跳	松本明日美	名東高 教員	1.78	2位	7	
	ハンマー投	野田 奈央	名古屋学院クラブ	53.36	9位		
少年男子A	100m	長田 拓也	豊川高	10.72	準決勝7位		
	5000m	平 和真	豊川工高	14.09.78	3位	6	
	110mH	古元 翼	名古屋高	15.20	予選6位		
	走幅跳	二宮 聡史	岡崎北高	7.26	7位	2	
少年男子共通	5000mW	山田 康太	愛知高	20.46.56	2位	7	
	走高跳	中村 仁	名古屋大谷高	2.06	6位	3	
	円盤投	小出 拓実	名古屋高	42.45	15位		
少年男子B	200m	村瀬 翔太	中京大中京高	21.89	2位	7	準決勝 自己新
	走幅跳	渡邊圭一郎	中京大中京高	6.71	16位		
少年女子A	100m	丹羽愛利彩	愛工大名電高	12.10	7位	2	予選 自己新
	100mH	萩原加奈子	豊橋南高	14.39	8位	1	
	走幅跳	浅井 真子	光ヶ丘女子高	5.90	3位	6	
少年女子B	200m	伊藤 南侑	豊田高	25.36	準決勝6位		
	1500m	鷺見 梓沙	豊川高	4.25.85	4位	5	
成少年男子	4×100mR	西垣 佳哉	法政大	40.18	5位	4	
		屋貝 博文	中京大				
		村瀬 翔太	中京大中京高				
		長田 拓也	豊川高				
成少年女子	4×100mR	前川 奈央	都留文科大	45.94	2位	7	
		市川 華菜	中京大				
		伊藤 南侑	豊田高				
		丹羽愛利彩	愛工大名電高				

ともあり、選手のデモンストレーションを見た子どもたちからは「すごい」「なんでそんなに速いの」など驚きの声が上がりました。実技指導では走・跳・投の基礎をわかりやすく指導をしていただきました。子どもたちからの質問にも優しく答えていただき、遠い存在である選手を身近に感じられる機会となりました。



11月20日(火)瑞穂陸上競技場にて「小学生陸上競技指導者講習会」が行なわれました。講師は愛知陸協女性委員会副委員長の谷寄好美さん。小学生の長距離練習のポイントや食育についての座学、楽しいウォーミングアップの仕方やハードルのドリル練習などについての実技等、盛りだくさんの内容で行なわれました。

(大矢 新吾)



(石田 伸)

中小体連

チーム愛知の力

10月26日(金)～28日(日)に横浜の日産スタジアムで第43回ジュニアオリンピック陸上競技大会が行なわれました。県選抜チームで構成された男子4×100mRで2位、女子4×100mRで3位に入賞することができました。男子については、1/100秒差の2位ということで、スタジアムで観戦していた愛知の関係者の多くが「勝った!」と感じたレースでした。女子については、抜群のチームワークと集中力を発揮し、見事3位入賞を果たしました。とも

に優勝こそ逃しましたが、その戦いぶりはたいへん立派であり、胸を張ってよい結果であったと感じています。個人種目では、来年度愛知全中で主役となる1・2年生が活躍しました。Bクラス100mでは、和田瑞輝選手(田原中・2年)が2位、Cクラス100mの大原康平選手(なごや陸上・1年)は3位に入賞しました。ともにリレーチームの柱となった選手ですが、個人種目においてもまさり結果を出してくれました。特に和田君の走りは素晴らしく、昨年からの成長には目を見張るものがありました。女子では、Bクラス100mHで鈴木瑞希選手(扇台中・2年)が落ち着いたレース運びで見事3位入賞を果たしました。鈴木さんは、その後11月4日に行なわれた名古屋市大会において四種競技の100mHで14.45(+1.6)という自己ベストをマークし、俄然注目される選手となりました。Cクラス800mの酒井美有さん(栄中・1年)も、力強い走りで2分17秒34という素晴らしい記録をマークし、3位入賞を果たしました。その他の種目でも、多数入賞することができ、来年の愛知全中に向けて順調に力をつけてきたと感じます。



女子ABC4×100mR 第3位(上段左から時計回り)
佐橋弘晃(女子監督)、森田祐美(なごや陸上・1年)、松本扶美(矢作北中・3年)、中野真琴(豊橋東部中・3年)、掛川 栞(栄中・2年)、菅嶋悠乃(AC一宮・3年)、長谷川愛樹(なごや陸上・1年)、犬塚彩奈(甲山中・2年)

男子ABC4×100mR 第2位(上段左から時計回り)
丹羽智行(男子監督)、大崎慎平(安城南中・3年)、新美泰地(東浦中・3年)、伊藤僚英(滝中・1年)、大原康平(なごや陸上・1年)、Cクラス100m3位)、和田瑞輝(田原中・2年Bクラス100m2位)、中澤悠哉(小坂井中・2年)



女子Bクラス100mH 第3位
鈴木瑞希(扇台中・2年)



女子Cクラス800m 第3位
酒井美有(栄中・1年)

昨年も愛知県ベンチを訪れ、控え場所として利用したり、情報交換をしたりする選手・指導者の方の数が増えました。愛知全中に向けて、「チーム愛知」としてのまとまりを大切にしながら、今後も、全中、ジュニアオリンピック等では、こうした形で中学校現場が一つにまとまっていたらと思いますので、ご協力よろしくお願ひします。

11月17日(土)に新城総合公園陸上競技場で第61回愛知県中学校駅伝大会が行なわれました。今回で3回目となる新城での大会となりましたが、東三河地区関係者、特に新城地区の先生方のご尽力により、スムーズに大会を進めることができました。一昨年と同様、雨の中での大会となってしまう、選手達はコンディショニングに大変苦労していました。豊川市立東部中学校が男女アベック優勝を決

めました。男子は通算2回目の優勝、女子は初優勝でした。優勝の両校は、12月16日(日)に山口県で行なわれた第20回全国中学校駅伝大会に愛知の代表として出場し、男子が11位、女子が16位でした。応援ありがとうございました。(久米 裕朗)

高体連

◎ 去る、10月27・28日の2日間、三重県伊勢市の三重県営陸上競技場において東海高校新人大会が行なわれました。1日目は絶好の天気恵まれ、好記録も多く出ましたが、2日目は一転して季節はずれの暴風雨となり、一時は中止も検討されるほどの最悪のコンディションの中で行なわれました。その中でも多くの愛知県選手が活躍し、入賞選手の数もほぼ例年通りでした。県内選手の成績は別表のとおりです。この大会は、来年度の東海高校総体の目安となる大会で、場所も同じ競技場で行なわれます。この中から、一人でも多くの選手が、7月30日から大分県の大分銀行ドーム陸上競技場で行なわれる、全国高校総体に出場できるよう期待しています。また、惜しくも入賞できなかった選手も冬季練習を頑張り、全国高校総体を目指していただきたいと思います。

◎ 11月4日には、知多運動公園陸上競技場を発着点として、県高校駅伝競走大会が開催されました。今回は出光通用門前にあった男子第5中継所を約600m前方の出光正門前に移動しました。その関係で男子の第3・第4中継所も約600mずつ移動し、途中の折り返し点も2ヵ所変更しました。特に第4中継所が朝倉インターの真下になる等、若干の混乱も予想されましたが、選手・監督・競技役員および知多警察署等すべての関係者の方々の協力を得て無事大会が終了しました。大会結果は別表のとおりです。

男子優勝の豊川高校は仙台育英高校から転校した選手たちおよび外国人留学生の活躍もあり、平成16年に豊川工業高校が京都の全国大会で出した県高校最高記録を約30秒上回り2位以下を2分以上も離す圧倒的な記録での優勝でした。また、2位に入った豊川工業高校も、同校が平成18年に出した大会記録を20秒も上回る大会新記録でしたが、残念ながら15年連続全国大会出場を逃しました。女子優勝の豊川高校は全員が区間賞という圧勝で見事6連覇を成し遂げました。豊川高校は、12月23日に京都市で行なわれます全国高校駅伝競走大会に、愛知県代表として出場します。この号が発行される時にはすでに結果が出ていると思いますが、男女とも十分優勝を狙える記録だと思ひますのでぜひ頑張ってくださいと思います。

◎ 11月25日に岐阜県庁前スタート～羽島市折り返しのコースで、東海高校駅伝大会が開催されました。遠く乗鞍岳まで見渡せるほどの絶好の駅伝日和の中、男子は豊川工業高校が県大会の雪辱とばかりに頑張り、見事大会新記録で2年連続12回目の優勝を果たしました。また、10位までの入賞校の中に、優勝の豊川工業、3位に愛知、4位に中京大中京、6位に豊川、9位に弥富の5校が入りました。女子は豊川が6年連続6回目の優勝を果たすとともに、3位に豊川工業、4位に岡崎学園、7位に千種の4校が入賞するなど、男女とも愛知県勢の活躍が光った大会でした。

(大島 修)

高体連定通部

例年より暑い日が続きましたが、10月14日(日)県高校定通秋季大会はさわやかな秋空の下で開催することができました。今年度で第30回を数える記念大会になり、これまでにご尽力いただいた、元愛知工業の伊藤紀久夫先生と元誠信高校の山添憲保先生から、開会式において祝辞をいただきました。

大会は、全日制とは違って、来年をめざす選手だけでなく、卒業学年の選手も現役最後の競技を楽しむかのように参加します。夏の全国大会で愛知県選手団という仲間になっている選手も多いので、競技会も和気藹藹となりました。

全国優勝した豊橋(昼)の山口浩美選手は女子走高跳で1m53の大会新記録を樹立し、100mHでも優勝するなど、来年への期待が一層大きくなりました。同じく全国優勝した大府の磯貝杏奈選手は100m・200mで優勝するも、記録は伸びませんでした。名古屋西の川本里奈選手4年は400mと円盤投に優勝し、卒業に花を添えました。

男子で2種目優勝したのは4名。特に来年度期待したい刈谷東(夜)の日高丈貴選手が100mと400mで力を発揮しました。

男子総合は参加選手数で上回る豊橋(昼)と激戦の末、科技高刈谷が12年連続優勝を果たしました。女子は豊橋(昼)が5年連続優勝と連覇を伸ばしました。

春の県総体に比べ、参加者が少ないのは残念に思います。(松橋 政人)

学連

東海学生陸上競技連盟(以下東海学連)は東海4県(愛知、岐阜、静岡、三重)に所在する大学(大学院を含む)、短期大学および高等専門学校(第4・5学年)の陸上競技部から組織され、公益社団法人日本学生陸上競技連合に加盟する団体である。現在48校、約1800人の学生が登録している。

平成24・25年度については梅村清弘名誉会長、竹内伸也・松本正之最高顧問、伊藤晃会長、安藤好郎・吉村篤司副会長を始め顧問、参与、ヘッドコーチ、評議員、参事、監事の役員その他、幹事長、秘書、常任幹事、幹事などの学生役員が置かれている。

東海学連の主な業務は東海地区における学生競技者の登録・管理及び東海学連独自または日本学連との共同での事業(競技会など)の開催である。

今年度東海学連主催の競技会としては下記の大会が開催された。

- 4月：東海学生春季大会(知多)
- 5月：東海学生陸上競技対校選手権大会(東海インカレ・瑞穂)
- 6月：全日本大学駅伝対校選手権大会東海地区選考会(瑞穂)
- 8月：東海学生陸上競技夏季大会及び全日本大学女子駅伝対校選手権大会東海地区選考会(半田)
- 10月：東海学生陸上競技秋季選手権大会(豊川)
- 12月：東海学生駅伝対校選手権大会及び東海学生女子駅伝対校選手権大会(知多半島)

東海学連主催の大会として最も重要なものの一つである東海インカレでは、優勝者には日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)に出場する資格が与えられる。な

お、総合得点では今年度は男女ともに中京大学が優勝した。

全日本大学駅伝対校選手権大会及び全日本大学女子駅伝対校選手権大会東海地区選考会では各大学から8名の選手が10000mのレース(女子では6名の選手が5000m)を行ないその合計タイムによって上位2チームに11月の全日本大学駅伝対校選手権大会(熱田神宮~伊勢)、10月の全日本大学女子駅伝対校選手権大会(仙台)に出場する権利が与えられる。今年度は男子では中京大学・名古屋大学、女子では中京大学・愛知教育大学が本大会に出場した。また、女子の名城大学は昨年(3位)からシード校(6位以上)となっているため予選会なしでの出場となったが、昨年は本大会で7位に終わったため今年からは東海予選からの出場となる。また12月に行なわれる東海学生駅伝(男子)の優勝校は来年度の出雲駅伝に出場することができる。

以上のような大会の開催と共に東海学連では学生審判養成のための審判講習会(6月に開催)、東海学連強化委員会主催の強化合宿及び講習会(今年度は競歩の研修合宿)などを開催すると共に、3年に一度東海学連としての海外遠征(これまでは中国、台湾などに遠征)も行なっている。

(本田 陽)

実業団

田原市の新コースで中部実業団対抗駅伝競走大会を開催

我々実業団チームから、残念ながら、また一つ廃部の報道が流れたのは9月であった。東日本連盟の加盟チームで、全日本実業団駅伝でも一時代を築いた強豪チームである。選手達の活躍の環境が早く見出せることを願うばかりである(この号が発行される頃には受け皿が整うことを期待したい)。

このような出来事があった後、先日ある新聞の記事が目につき、大変興味深く拝見させてもらった。その内容は、ロンドン五輪で男子1600mリレーに初出場した、中野弘幸選手(愛知教育大大学院)の報告会でのことである。名古屋高校時代の恩師である森谷晴彦先生の言葉を取り上げた記事だった。「高校時代の中野選手を知る者にとって、五輪出場などあり得ないことだった。ただし、彼のあきらめない根性と反骨精神は抜群で、どんな境遇にも『何くそっ』と立ち向かい、最後まで食らいついた」との祝辞だったようだ。自分の可能性に蓋をせず、反骨精神で大きな目標に向かう事の大切さを述べてるのではないだろうか。選手は皆、無限の可能性を秘めていると、かねてからそう思っている小職にとってとても嬉しく思う。また、中野選手本人も「五輪に出られたのは練習時間や設備に恵まれず、知恵を絞って集中できた結果です」との感想を述べていたようだが、実業団選手の中には、これと似たような環境で努力している選手も少なくない。どうか、それぞれの置かれている環境に安易に妥協せず、目標を高く掲げて努力精進して貰いたい。

実業団女子駅伝中日本大会が10月21日(日)に岐阜で開催された。デンソーチームが1区から終始トップを譲らず2時間16分57秒の好タイムで優勝した。実力者の杉原を温存しての勝利は、12月、仙台開催の全日本実業団女子駅伝での優勝の可能性を感じさせる結果であった。中部勢からは、豊田自動織機、愛知電機、小島プレスを含めた

4チームが全国大会への出場を決めた。仙台では会社、職場の声援を背に選手達の活躍を多に期待したい。

第52回中部実業団対抗駅伝競走大会が11月18日(日)に昨年より田原市の新コースで開催された。田原市伊良湖クリスタルポルトをスタート、たはらはなとき通りをゴールとする7区間85.7kmで実施された。新コース開催に至るまでに愛知県警はじめ地元行政ならびに関係各方面の努力に心より感謝致します。又、前夜祭では、ご出席いただいた野村誠下呂市長に対し、藤岡高広中部連盟会長の、これまで26年間お世話になった下呂市への感謝の言葉から始まった。また、地元の鈴木克幸田原市長もご出席され、なごやかな雰囲気の中で、新コースでの大会の成功を願いながら懇親を深め会を納めた。成績は以下の通り、1位トヨタ紡織、2位トヨタ自動車、3位愛知製鋼、4位NTN、5位愛三工業、6位中央発條、7位トーエネック、以上7チームがこの元旦のニューイヤー駅伝への出場資格を獲得した。

男子、女子の中部連盟参加チームがそれぞれの全国大会で好成績を取めることを期待したい。

(樋高 勇二)

愛知陸協 OB・OG 会

秋の行事

10月23日(火)2名の方が急に参加できなくなり、総勢32名で、秋の行事を開催いたしました。

10月19日～21日の3日間日本ジュニア・ユース大会を成功裡に終え、一日おいての日程で参加者一同大きな大会の後だけに皆さんにこやかにお越しくさせていただきました。

生憎の雨の中、名古屋駅新幹線西口を8時30分に出発し、上郷・牧ノ原SAで休憩をとり、静岡清水の“なすびや本店”で昼食をとりました。前日、水揚げされたばかりの大トロ、まぐろや桜海老、しらすなど新鮮な絶品を味わい、皆満足顔で再出発しました。

幸いなことに、いつのまにか雨が上がり日本平、久能山東照宮を見学し、途中、わさび工房たまるやに立寄り、皆さん各々家へのおみやげを求め、浜名湖SAで一服し、18時30分予定通り名古屋へ帰着。すべてのスケジュールを終え、解散いたしました。

バスの旅で、お互いに会話ははずみ、より親睦を深めることができました。参加していただきました皆さん、お疲

ホープさん ㊷

北野 有紀選手 (愛知淑徳高校 2年)



ハードルのドリル練習

今回紹介するのは、愛知淑徳高校2年の北野有紀です。北野の実績を簡単に紹介します。小学校5年では100mで全国2位となり、小学校6年では、100mで全国大会の準決勝に進みました。中学1年では、全日中で200mで出場し、ジュニアオリンピックで100m5位。中学2年は、全日中で200m4位、ジュニアオリンピックは100m2位。中学3年は、全日中で200m8位、ジュニアオリンピックで200m5位。また高校1年ではインターハイで200m7位、ジュニア・ユース選手権で200m7位。高校2年は、インターハイに400mで出場し準決勝まで進みました。このように常に全国大会で活躍して来ました。

このような実績があるのに、なぜ高校2年の北野が、ホープになるのか。実は、小学校・中学校・高校2年の8月まで、一度もハードル競技に出場したことがありません。9月9日に行なわれた新人戦名古屋北支部予選会に初めて400mHを走り、いきなり日本ジュニア・ユース選手権の標準記録を突破したのです。400mの持ちタイムから、ある程度は期待していましたが、驚きと喜びが突然やってきたのです。その後、私学祭と愛知県高校新人戦で400mHに出場しましたが、風が強く記録を上げることができない

まま、10月21日の日本ユース選手権を迎えました。しかし、そこで自己記録を1秒以上短縮し、4位に入賞したのです。そのレースも8台目からバランスを崩し、スピードが落ち納得できない走りでしたが、目標としていた入賞を果たし自信にもなりました。だから、ホープとして指名されたしいです。

さて、過去の実績を見てもらえば解るように、今まで100m・200mを中心に練習をしてきましたが、北野の素質から400mの距離が一番適していると思い、また本人も自分のことをそのように理解しており、インターハイ後に400mHの練習も取り入れました。

北野は両親の素質を引き継ぎ、ハードルを器用にまたぎ、走りぬくことができます。一番驚いたことは、左右どちらの足でも踏み切ることができることでした。だから1台目にスピードを落とさず入れば、2台目からのインターバルを17歩で走ることができ、途中から18歩に変えることも可能です。まだまだ練習不足で10台すべて17歩で走れませんが、試合経験も少なくハードルの練習の不足もあり、これからを期待しています。今まで多くの選手を指導して来ましたが、全国大会で活躍する選手は、自分自身をよく知り練習のねらいを理解して、手抜きをせず練習に打ち込める人です。北野も同様な選手で、長時間の練習にも耐える丈夫な体をしています。4月からは高校生活最後のシーズンになります。愛知県のホープとして認められるような成績を残せるよう、冬場にしっかり走り込みをし、またハードル練習を取り入れて行こうと思います。

(大津賀 賢)



新人大会にて



日本ユース大会4位入賞

渥美半島一周駅伝いまむかし (4)

第6回大会 (昭和29年3月14日)

復活豊橋青年の連勝と青年団活動の原動力となった駅伝も、参加チームの減少に伴う少数精鋭の大会となる。今大会は日程の大幅変更により3月開催となり、参加チームは7チームとなる。すっかり春めいて来た渥美路に安城クラブが初参加、特に鶴田選手の追い上げを予想する各チームは、必死の逃げ切りに、最後まで接戦を続け、新記録樹立の原動力となった。午前10時豊橋公会堂前をスタートした選手は一団となって、愛大、時習館高、豊橋工高のある学園街を通過し、練習量にものを云わせ中継所手前で抜け出し、老津で八楽ク(大久保)がトップでタスキを渡す。2区では豊橋青年(兵藤)が初出場ながらトップに並走し、3区に入って豊橋工業(高橋)がトップを奪えば、豊橋青年(中島)、八楽ク(鈴木)が続き、4位に安城クとなる。後半有力選手を揃えた豊橋青年は、6区に入るとホープ真木がトップに出て、片山に繋ぐ。8区で豊橋青年(早川)は区間新記録で最終走者にタスキを渡す。2位豊橋工業、3位八楽クと続き、4位の安城(太田)がへとへとになって、「先輩たのみます」の声と共になだれ込んだ。健脚鶴田(安城)はトップを走る豊橋青年(中野)、豊橋工(高橋)、八楽ク(馬場)を追う。鶴田の力走で最後まで予断をゆるさないレースとなり、駅伝の醍醐味を見せてくれた。午後3時32分、万雷の拍手の中豊橋青年がゴールイン。午後4時からの閉会式で大会新記録で優勝した豊橋青年に優勝楯が贈られた。

成績

- 1位 豊橋青年(系柳、兵藤、中島、小笠原、彦坂、真木、片山、早川、中野) 5時間32分02秒、大会新
- 2位 豊橋工業高 5時間41分46秒
- 3位 安城クラブ 5時間41分54秒
- 4位 八楽クラブ 5位 成章高 6位 豊橋商高

区間記録

- 1区 大久保晴安(八楽ク) 38分24秒
- 2区 兵藤重嘉(豊橋青年) 25分25秒
- 3区 高橋好治(豊橋工高) 44分12秒
- 4区 山本良夫(〃) 22分10秒
- 5区 内田信次(八楽ク) 39分32秒
- 6区 真木昭夫(豊橋青年) 43分16秒
- 7区 片山勇(〃) 34分41秒
- 8区 早川克之(〃) 36分27秒 新記録
- 9区 鶴田政之(安城ク) 42分24秒 新記録

第7回大会 (昭和30年1月16日)

粉雪交り、9mの強風をついて、豊橋公会堂前を高津副会長の号砲でスタート。9区間の長いコースを向い風をもろともせず、選手は意気高らかに健脚を揃え優勝を争った。初参加の瀬戸クラブ、矢野、水野等がよくチームをまとめ、常春の渥美路に挑戦し、3位入賞を喜びあっていた。また初参加の分校選手の一途な走り、満足した笑顔がほほえましかった。

成績

- 1位 豊橋青年(笹野、渡辺、真木、彦坂、片山、小山田、中島、兵藤、中野) 5時間58分04秒
- 2位 成章高 6時間02分50秒
- 3位 瀬戸クラブ 6時間07分12秒
- 4位 豊橋工業豊川分校
- 5位 福江高
- 6位 新城高一宮分校

区間賞

- 1区 立岩(成章高) 42分14秒
- 2区 矢野通則(瀬戸クラブ) 29分59秒
- 3区 真木昭夫(豊橋クラブ) 44分25秒
- 4区 石川(成章高) 24分52秒
- 5区 片山近(豊橋青年) 42分43秒
- 6区 杉原(成章高) 42分42秒
- 7区 中島育夫(豊橋青年) 34分11秒
- 8区 兵藤重嘉(〃) 38分48秒
- 9区 水野一臣(瀬戸ク) 49分26秒

(牧田 功)



<お知らせ>

※今回「名岐駅伝いまむかし」はお休みです。

れさまでした。

(村瀬雄一郎)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

平成25年の幕があけました。今年は第12回東海マスターズ選手権大会の担当年で、5月19日(日)にウェーブスタジアム刈谷で開催します。この大会では近頃要望の多い棒高跳を新たに実施種目に加え、また、従来から実施している重量投げも継続していく予定です。大会の特色づけをすることにより、幅広い参加者を増やしたいと考えています。

今年も特に目新しい事業はありませんが、記録会、駅伝参加などの事業を粛々と行ない、一層充実していくこととなります。

愛知マスターズ連盟第13期役員の任期は、この3月末までであります。基本的には現在の体制を継続していくこととなります。役員それぞれに思いは色々あろうかと思いますが、一致団結して、斬新な発想により、会員の皆さんにマスターズ陸上を楽しんでいただけるよう努力していただきたいと思います。引き続き愛知陸協の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

前号以後の報告となりますが、平成24年11月11日(日)東京・武蔵野の森公園特設コースで第25回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝大会が開催されました。このコースは、調布飛行場を中心に味の素スタジアム、東京外国語大学に隣接する調布市、府中市、三鷹市にまたがるものでした。今大会は、これまでの3部門(男子の部、女子の部、エルダーの部)から2部門(対抗の部、エルダーの部)に変更されました。

結果は、対抗の部(男女混合)4位、エルダーの部(男女混合)8位で2部門とも入賞しました。対抗の部では、第3区(男子50歳以上)で下川勝彦選手、第4区(女子40歳以上)で長坂恵子選手が区間賞を取りました。下川勝彦選手は3年連続区間賞を獲得する偉業を達成しました。

愛知県選手の成績は、以下のとおりです。

対抗の部

第1区 女子30歳以上 5.195km 下川 友美(豊田市) 5位 区間5位
 第2区 男子40歳以上 5km 松永 光雄(東海市) 4位 区間8位
 第3区 男子50歳以上 5km 下川 勝彦(豊田市) 4位 区間賞
 第4区 女子40歳以上 4km 長坂 恵子(豊田市) 2位 区間賞
 第5区 男子55歳以上 5km 中山 史信(名古屋市) 3位 区間3位
 第6区 男子45歳以上 5km 夏目 勝也(田原市) 3位 区間5位
 第7区 男子60歳以上 5km 三宅 光章(豊田市) 4位 区間11位
 第8区 男子35歳以上 8km 江本 悟司(東浦町) 4位 区間5位

エルダーの部

第1区 女子50歳以上 5.0975km 中山 淳子(名古屋市) 4位 区間4位
 第2区 男子65歳以上 4km 佐野 昭二(高浜市) 11位 区間16位
 第3区 男子70歳以上 3km 小山 真一(尾張旭市) 8位 区間5位
 第4区 女子55歳以上 4km 東 二三子(みよし市) 8位 区間6位
 第5区 男子60歳以上 5km 中村 利夫(豊田市) 8位 区間12位

(佐野 昭二)

競技会報告

第28回目清カップ 全国小学生陸上競技交流大会
 愛知県選手団結果報告
 平成24年8月25日(土) 日産スタジアム

男子

種目	氏名	所属	決勝	順位
4×100mR	朝倉 拓海 松下隆之介 戸田 健太 ダニエル河内	安城 JAC	50.14	2位

女子

種目	氏名	所属	決勝	順位
5年100m	竹崎 郁乃	安城 JAC	13.76	4位
6年100m	米重 美紅	豊橋陸上	13.36	5位
80mH	蜷川 真未	成岩 SC	12.80	5位
4×100mR	宮川 愛海 浅岡 陽名 池田 美琴 成瀬 汐七	安城 JAC	53.01	6位
ソフトボール投げ	高田 爽矢	成岩 SC	65.58	3位

天皇賜盃 第81回日本学生陸上競技対校選手権大会
 2012年9月9日(日)～12日(水) 国立競技場

男子(県外の大学は愛知県登録の選手)

種目	順位	氏名	所属名	記録
200m	7	屋貝 博文	中京大	21.22
400m	1	中野 弘幸	愛教大	46.55
	4	安井 一樹	中京大	47.18
1500m	2	田中 秀幸	順大	3.45.41
4×100m	5	勝山 和成 三輪 将之 寺田 健人 屋貝 博文	中京大	39.56
4×400m	3	中村 明彦 屋貝 博文 安井 一樹 田村 朋也	中京大	3.06.14
10000mW	2	木村 洋介	順大	42.16.41
棒高跳	1	山本 聖途	中京大	5.40
	5	近藤 清貴	中京大	5.10
	7	近田 竜雅	関学大	5.00
十種競技	1	中村 明彦	中京大	7657
	4	伊藤 俊和	中京大	7125

総合得点 中京大 66点 トラック得点 中京大 19点
 フィールド得点 中京大 27点 混成競技得点 中京大 20点
 多種目優勝 中京大 2種目

女子(県外の大学は愛知県登録の選手)

種目	順位	氏名	所属名	記録
100m	1	市川 華菜	中京大	11.75
200m	1	市川 華菜	中京大	23.64
5000m	1	鈴木亜由子	名大	15.44.45
	2	荘司 麻衣	中京大	15.51.25

5000m	7	伊澤菜々花	順大	16.04.15
400mH	8	齋藤 結	中京大	59.74
3000mSC	4	花岡 紗耶	愛教大	10.34.97
4×100m	1	小椋 敦子 桐山 智衣 中尾 優里 市川 華菜	中京大	45.87
4×400m	3	齋藤 結 伊達 愛美 竹内麻里子 市川 華菜	中京大	3.39.92
走高跳	2	岩田 未玲	至学館大	1.76
	5	河澄 真子	中京大	1.73
七種競技	7	河崎梓穂璃	中京大	4930

総合得点 中京大 72点 トラック得点 中京大 41点
 フィールド得点 中京大 26点 混成競技得点 中京大 5点
 多種目優勝 中京大 4種目

平成24年度 愛知県高等学校新人対校陸上競技大会
 平成24年9月29日(土)・10月4日(木) 瑞穂公園陸上競技場

男子 (GR:大会新)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	1	井上 脩吾	栄徳	10.84
	2	掛川 真	名古屋	10.87
	3	児島 大樹	江南	10.94
200m	1	井上 脩吾	栄徳	21.61
	2	村松 隆世	豊田高専	22.03
	3	金森 怜也	名古屋	22.06
400m	1	木下 昇也	豊橋南	49.22
	2	岩田 侑也	岡崎北	49.23
	3	中村 文哉	千種	49.32
800m	1	永山 周輝	千種	1.58.56
	2	近藤 剛史	東海南	1.58.99
	3	近藤 優輝	至学館	1.59.07
1500m	1	河合 祐哉	時習館	4.00.27
	2	長谷川佳弘	愛知	4.01.58
	3	鶴田 泰士	中京大中京	4.01.97
5000m	1	川合 健太	中京大中京	15.14.65
	2	河合 祐哉	時習館	15.17.00
	3	山藤 篤司	愛知	15.18.01
110mH	1	山本 健太	阿久比	14.90
	2	三浦 成皓	名古屋	14.92
	3	福島 英樹	中京大中京	15.05
400mH	1	水野 敬介	一宮	54.89
	2	中村 文哉	千種	55.59
	3	大久保直哉	安城学園	55.63
3000mSC	1	鈴木 祐希	愛知	9.28.80
	2	石川 純平	岡崎城西	9.37.34
	3	平野 誉之	中京大中京	9.38.37
5000mW	1	及川 文隆	愛知	22.28.87
	2	割田 圭祐	西春	23.45.86
	3	上川原 駿	愛工大名電	23.46.13

4×100m	1	澤野 智則 井上 脩吾 新城 健斗 渡部 健斗	栄徳	42.00
	2	中野 俊助 掛川 真 安藤 寛之 金森 怜也	名古屋	42.01
	3	福島 英樹 遠藤 侑汰 福島 知樹 寺島 航汰	中京大中京	42.23
4×400m	1	利田 涼輔 井上 脩吾 藤本 匠 成實 椋太	栄徳	3.23.77
	2	實 大地 夫 大介 飯田 崇人 金宮 圭佑	名古屋大谷	3.24.10
	3	五十嵐 大智 戸松 功祐 柴田 淳稔 山田 卓人	一宮西	3.24.90
走高跳	1	野林 勇佑	豊川	2.00
	2	近藤 雅哉	岡崎城西	2.00
	3	水谷 來	岡崎城西	2.00
棒高跳	1	鈴木 康太	岡崎城西	4.80
	2	菅沼 真一	豊川	4.50
	3	野村 大成	中京大中京	4.30
走幅跳	1	平林 卓磨	名城大附属	7.13
	2	伊藤 裕也	時習館	6.91
	3	横地 秀春	中京大中京	6.81
三段跳	1	清野 達也	安城学園	14.34
	2	伊藤 裕也	時習館	14.30
	3	坂本 翔太	安城学園	13.97
砲丸投	1	江崎 亮人	至学館	14.15
	2	清水 和樹	春日井工	12.36
	3	菱川 寛生	起工	12.20
円盤投	1	永井 宏典	豊田大谷	43.63 GR
	2	杵本 裕貴	名古屋	38.37
	3	鈴木 勇成	一宮	35.01
ハンマー投	1	杵本 裕貴	名古屋	48.70
	2	河合 将輝	起工	45.87
	3	江崎 亮人	至学館	44.46
やり投	1	竹内 一貴	昭和	58.06
	2	藤垣 諒	尾北	57.37
	3	浅野雄一朗	一宮	54.61

男子総合成績

部門	順位	学校名	得点
総合	1	中京大中京	36
	2	名古屋	32
	3	岡崎城西	29
トラックの部	1	中京大中京	28
	2	栄徳	24
	3	愛知	24

部門	順位	学校名	得点
フィールドの部	1	岡崎城西	21
	2	起工	14
	3	豊川	13

女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	1	野村 真由	至学館	12.23
	2	伊藤 瑛里	岡崎西	12.41
	3	石川加奈子	中京大中京	12.47
200m	1	野村 真由	至学館	25.16
	2	鷺見 咲江	一宮南	25.79
	3	林 采花	西春	25.82
400m	1	山田 晴帆	千種	56.54 GR
	2	北野 有紀	愛知淑徳	56.62 GR
	3	浅井 茅子	瑞陵	58.06
800m	1	森田 琴乃	千種	2.14.75
	2	伊藤 麻子	至学館	2.17.54
	3	柴田 夏希	一宮北	2.19.09
1500m	1	中根 千明	中京大中京	4.29.67
	2	森田 琴乃	千種	4.32.00
	3	松井恵里奈	時習館	4.34.09
3000m	1	中根 千明	中京大中京	10.02.73
	2	高橋 美帆	刈谷	10.05.22
	3	金尾 南実	至学館	10.05.81
100mH	1	貫井 茜	明和	14.70
	2	内山はるな	豊橋南	14.96
	3	古澤 彩果	中京大中京	15.09
400mH	1	北野 有紀	愛知淑徳	1.03.42
	2	貫井 茜	明和	1.04.87
	3	山田 智永	五条	1.06.23
5000mW	1	国澤 望	岡崎商	24.50.08 GR
	2	加藤みづ紀	千種	24.56.04 GR
	3	橋本 記江	一宮西	25.23.98 GR
4×100m	1	竹内 涼子 野村 真由 酒井 美緒 武内 琴子	至学館	47.59
	2	深谷 亜以 早川 有香 小嶋 梨菜 石川加奈子	中京大中京	47.94
	3	宮下 秋穂 梶浦みづき 伊藤 里帆 横田かおり	愛知	48.15
4×400m	1	竹内 涼子 伊藤 麻子 近藤 杏美 野村 真由	至学館	3.55.45
	2	宮下 秋穂 梶浦みづき 伊藤 里帆 荻野 千春	愛知	3.56.62
	3	幸 亜優美 菱山 綺更 須浦 千晶 山田 晴帆	千種	3.59.04

走高跳	1	杉浦 澄美	岡崎城西	1.70
	2	松井 紗希	中京大中京	1.67
	3	金原 智子	安城学園	1.61
走幅跳	1	石川加奈子	中京大中京	5.49
	2	杉浦 澄美	岡崎城西	5.35
	3	八瀬 友香	中京大中京	5.30
砲丸投	1	中村 彩花	豊橋東	11.02
	2	丸山 夏美	碧南	10.70
	3	安藤かすみ	至学館	10.65
円盤投	1	能澤 照実	名古屋大谷	35.00
	2	岡田はるな	三好	31.82
	3	丸山侑里子	名東	31.80
やり投	1	森 凧紗	名城大附属	44.83 GR
	2	寺田 美紅	岡崎商	37.32
	3	中内 真悠	安城学園	36.75
棒高跳	1	佐藤 愛	中京大中京	3.40 GR
	2	船本 新奈	三好	3.00
	3	野々垣 光	愛知	2.40
三段跳	1	東 裕美	明和	11.24 GR
	2	中山 怜佳	岡崎城西	10.99
	3	黒田 望	岩津	10.91
ハンマー投	1	田口 優	一宮北	36.04 GR
	2	窪田 知香	長久手	35.19 GR
	3	大久保祥子	長久手	32.48

女子総合成績

部門	順位	学校名	得点
総合	1	中京大中京	45
	2	至学館	44
	3	千種	30
トラックの部	1	至学館	58
	2	千種	44
	3	中京大中京	42
フィールドの部	1	中京大中京	18
	2	岡崎城西	12
	3	安城学園	8

第28回日本ジュニア陸上競技選手権大会
第6回日本ユース陸上競技選手権大会
 2012年10月19日(金)～21日(日)3日間
 名古屋市瑞穂公園陸上競技場 本県8位入賞のみ

男子ジュニア (GR:大会記録 JNR:ジュニア日本記録)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	7	西垣 佳哉	法政大	10.69
	8	寺田 健人	中京大	10.71
200m	2	寺田 健人	中京大	21.40
400m	6	岡田 壮平	法政大	48.39
400mH	3	岡田 壮平	法政大	52.09
走高跳	4	中村 仁	名古屋大谷高	2.09
	6	糟谷 隆明	愛知教育大	2.06
	8	大井 拓也	愛知教育大	2.06
棒高跳	7	榎 将太	中京大	4.90

走幅跳	8	鈴木 舜也	成章高	7.13
円盤投	2	越 寛将	中京大	52.40
ハンマー投	1	墨 訓熙	中京大	68.94 JNR GR

JOC ジュニアオリンピックカップ 男子受賞者(2年連続受賞)
墨 訓熙(中京大学・愛知)ハンマー投 68.94

ジュニア日本新記録・大会新記録

女子ジュニア

種目	順位	氏名	学校名	記録
800m	6	竹内麻里子	中京大	2.11.62
100mH	6	萩原加奈子	豊橋南高	14.14
400mH	2	大谷友梨恵	至学館大	59.92
走高跳	2	岩田 未玲	至学館大	1.71
	7	北島 菜璃	同志社大	1.65
	8	榊原小侑季	至学館高	1.65
走幅跳	2	浅井 真子	光ヶ丘女子高	5.90
三段跳	8	北島 菜璃	同志社大	11.22

男子ユース

種目	順位	氏名	学校名	記録
800m	8	近藤 剛史	東海南高	2.00.54
400mH	8	水野 敬介	一宮高	55.78
棒高跳	1	鈴木 康太	岡崎城西高	4.90
三段跳	7	清野 達也	安城学園高	14.60

女子ユース

種目	順位	氏名	学校名	記録
200m	6	丹羽愛利彩	愛工大名電高	24.90
400mH	4	北野 有紀	愛知淑徳高	1.01.59
走高跳	8	松井 紗希	中京大中京高	1.69
棒高跳	4	佐藤 愛	中京大中京高	3.40

男子招待リレー 6年生

(PKR:愛知県小学生最高記録 NER:日本小学生最高記録)

種目	順位	氏名	所属名	記録
4×100mR	1	朝倉 拓海 松下隆之介 戸田 健太 ダニエル河内	安城ジュニア 陸上クラブ	48.87 NER PKR

第15回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
平成24年10月27日(土)・28日(日) 三重県営総合競技場・陸上競技場

男子 (3位まで GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
100m	掛川 真10.82 愛知・名古屋	井上 脩吾10.85 愛知・栄徳	後藤 和嗣10.88 静岡・磐田北
200m	井上 脩吾22.08 愛知・栄徳	金森 怜也22.38 愛知・名古屋	後藤 和嗣22.40 静岡・磐田北
400m	油井 快晴47.68 GR 静岡・浜松市立	小城 侑也48.82 静岡・浜名	藤田 尊大49.13 三重・鈴鹿高専
800m	山田 蒼大1.56.65 岐阜・大垣商	渡邊 晴哉1.57.55 岐阜・長良	櫻川 皓市1.58.49 愛知・瑞陵
1500m	永山 周輝3.58.57 愛知・千種	長谷川佳弘3.59.68 愛知・愛知	渡邊 裕晴4.00.41 静岡・藤枝明誠
5000m	近藤 秀一14.53.12 静岡・葦山	多和田涼介14.54.54 愛知・愛知	山藤 篤司14.54.78 愛知・愛知
110mH (1.067m)	山本 健太14.56 GR 愛知・阿久比	坂梨 雄亮14.57 GR 静岡・浜松西	三浦 成皓14.88 愛知・名古屋

400mH (0.914m)	大久保直哉 55.07 愛知・安城学園	中野 竜平 55.14 静岡・浜松市立	山口 翔太 56.56 岐阜・土岐商
3000mSC	鈴木 祐希 9.28.44 愛知・愛知	古林 潤也 9.33.21 岐阜・麗澤瑞浪	日吉 達 9.36.65 静岡・藤枝明誠
5000mW	及川 文隆 21.51.03 GR 愛知・愛知	渡邊 心平 22.43.33 静岡・葦山	大沼 太陽 22.58.95 静岡・浜北西
4×100mR	四日市工・三重 41.15 中川 想基 田中 翔真 川喜田剛志 渥美 久司	名古屋・愛知 41.23 中野 俊助 掛川 真 古元 翼 金森 怜也	中京大中京・愛知 41.25 渡邊圭一郎 村瀬 翔太 遠藤 侑汰 寺島 航汰
	浜松市立・静岡 3.16.92 中西 大輔 中野 竜平 福留 靖隆 油井 快晴	葦山・静岡 3.17.80 日吉 克実 中嶋 一貴 石川 瑞生 土屋 順哉	浜松西・静岡 3.20.16 鈴木 晟也 櫻井 陸 坂梨 雄亮 高橋 秀周
走高跳	近藤 雅哉 1.96 愛知・岡崎城西	松岡 修平 1.93 三重・高田	水谷 来 1.93 愛知・岡崎城西
棒高跳	清水 駿介 4.60 静岡・磐田東	鈴木 康太 4.60 愛知・岡崎城西	菅沼 真一 4.50 愛知・豊川
走幅跳	松岡 修平 7.21 三重・高田	三宅 将督 7.10 岐阜・恵那	土屋 裕輝 7.02 公認記録なし 静岡・東海大翔洋
三段跳	坂本 翔太 14.11 愛知・安城学園	清野 達也 14.03 愛知・安城学園	伊藤 裕也 13.95 愛知・時習館
砲丸投 (6.0kg)	赤間 祐一 16.01 静岡・浜松城北工	村上 輝 15.03 三重・南伊勢	早川 匠海 14.60 岐阜・市岐卓商
円盤投 (1.750kg)	三村 武司 47.50 三重・稲生	赤間 祐一 46.30 静岡・浜松城北工	村上 輝 42.02 三重・南伊勢
ハンマー投 (6.0kg)	森 大輝 56.26 静岡・浜松城北工	嶋田 健人 49.64 三重・津東	伊藤 航 49.06 三重・桑名
やり投 (800g)	濱崎 康平 63.48 GR 三重・宇治山田商	竹内 一貴 57.91 愛知・昭和	藤原 智弥 57.86 三重・上野

女子 (GR:大会記録 *F1:1回目が公認最高 *F3:3回目が公認最高 *F6:6回目が公認最高)

種目	1位	2位	3位
100m	松本沙耶子 11.92 静岡・静岡市立	渡邊ひかる 12.26 静岡・富士市立	林 采花 12.34 愛知・西春
200m	野村 真由 25.31 愛知・至学館	鈴木 知沙 25.43 静岡・浜松商	渡邊ひかる 25.44 静岡・富士市立
400m	平木 真美 57.00 静岡・静岡市商	荻野 千春 57.59 愛知・愛知	武田 夏美 57.83 静岡・浜松海の星
800m	佐々木明花 2.16.55 愛知・岡崎城西	柴田 夏希 2.17.63 愛知・一宮北	西尾 知佳 2.20.21 静岡・吉田
1500m	森田 琴乃 4.35.80 愛知・千種	松井恵里奈 4.40.80 愛知・時習館	川野 桃子 4.41.34 愛知・安城学園
3000m	松井恵里奈 10.01.85 愛知・時習館	高橋 美帆 10.02.23 愛知・刈谷	山田 祥穂 10.02.78 三重・津
100mH (0.840m)	杉山 玲菜 14.28 静岡・浜名	飯尾 玲菜 14.43 静岡・浜松商	二村 有紀 14.75 静岡・浜松市立
400mH (0.762m)	貫井 茜 1.04.34 愛知・明和	伴野 莉奈 1.04.53 静岡・清水東	山崎 佳奈 1.04.60 静岡・富士見
5000mW	溝田 桃子 23.37.05 GR 静岡・伊豆中央	五藤 怜奈 24.04.56 GR 岐阜・済美	橋本 記江 24.41.14 GR 愛知・一宮西
4×100mR	静岡市商・静岡 47.73 渡邊 亜美 瀧下恵梨菜 大橋 萌子 平木 真美	浜松商・静岡 48.15 飯尾 玲菜 鈴木 知沙 篠原亜梨沙 那須田和葉	中京大中京・愛知 48.73 深谷 亜以 早川 有香 小嶋 梨菜 石川加奈子
	愛知・愛知 3.56.05 久保坂優子 梶浦みずき 伊藤 里帆 荻野 千春	沼津西・静岡 3.57.97 鈴木 あや 井上 爽 佐川 真由 三田 花苗	至学館・愛知 3.57.98 野村 真由 竹内 涼子 宮脇 玲菜 近藤 杏美
走高跳	松島美羽留 1.73 GR 静岡・浜松市立	杉浦 澄美 1.73 GR 愛知・岡崎城西	松井 紗希 1.64 愛知・中京大中京

棒高跳	鈴木 里菜 3.10 静岡・浜松西	中林 麻奈 3.10 三重・相可	小出 亜美 3.00 静岡・浜松湖南
走幅跳	天野 那海 5.60 静岡・浜名	石川加奈子 5.57 愛知・中京大中京	金野 早希 5.43 *F6 公認 5.36 静岡・富士宮北
三段跳	深澤 花香 11.94 静岡・清水東	神谷 香有 11.67 *F6 公認 11.35 静岡・浜名	山根 芽衣 11.54 *F3 公認 11.30 三重・宇治山田商
砲丸投 (4.0kg)	山羽 愛理 12.22 三重・宇治山田商	中川 由貴 11.91 三重・桑名工	末次 里穂 11.29 静岡・浜松工
円盤投 (1.0kg)	中村 千咲 35.30 三重・宇治山田商	奥野 芳佳 33.83 三重・稲生	能澤 照実 33.81 愛知・名古屋大谷
ハンマー投 (4.0kg)	油谷 文月 46.52 三重・相可	鈴木真依子 46.25 三重・宇治山田	中北 采那 41.31 三重・宇治山田
やり投 (600g)	坂倉 奈杏 46.47GR 三重・四日市四郷	山路 紫穂 41.84 三重・皇學館	トランティゴックトゥエット 41.68 静岡・浜松湖東

6年 80mH	蔵田 源貴 12.00 なごや陸上ク	神谷 翼 13.23 刈谷 AC	鶴田 大介 13.43 TSM
6年 4×100mR	安城ジュニア陸上ク-A 49.51 GR 朝倉 拓海 松下隆之介 戸田 健太 ダニエル河内	TSM-A 52.46 麻生 健太 大野 秀哉 各務 元紀 山内 大航	豊橋陸上ク-A 52.62 村田 響 松山 卓暉 渡辺 大智 平間 太規
5年 走高跳	市川 拓海 1.20 福岡 AC	笹野 楓 1.15 田原陸上クラブ	河本 雄佑 1.15 豊橋陸上クラブ
6年 走高跳	堀井 健史 1.40 TSM	榊原 圭悟 1.40 成岩 SC 陸上	伊奈 颯太 1.40 豊橋陸上クラブ
4年 走幅跳	新垣 颯斗 4.09 新城陸上教室	谷口 智紀 3.88 作野 AC	中西 健太 3.71 知立ジュニア
5年 走幅跳	澤田 佳樹 4.67 JAC 武豊	大月 翔矢 4.59 なごや陸上ク	三浦 源生 4.32 へきなんクラブ
6年 走幅跳	中村 伊吹 5.09 JAC とよあけ	中野 裕仁 5.02 JAC 武豊	松尾 健永 4.88 なごや陸上ク
5年 ソフトボール投	田中 悠登 47.09 桜町クラブ	鏡味 拓真 45.92 大須 AC	
6年 ソフトボール投	藤井 瑞樹 66.43 鬼南クラブ	溝部 大翔 58.51 今池 AC	寺西 悠人 57.11 豊川陸上教室
6年 二種競技 A	柴木隆太郎 1228 JAC とよあけ	中倉 啓敦 1138 なごや陸上ク	杉浦 隆一 1133 へきなんクラブ
6年 二種競技 B	戸田 健太 1585 *C1 安城 JAC	松山卓暉 1468 豊橋陸上クラブ	岡本 真生 1462 *C1 *C2 AC 一宮

第43回ジュニアオリンピック陸上競技大会
2012年10月26日(金)～28日(日) 日産スタジアム

男子

種目	氏名	所属	決勝	順位
A 走高跳	河合 宏哉	武豊	1.89	⑧
B100m	和田 瑞輝	田原	11.52	②
C100m	大原 康平	なごや陸上	11.73	③
ABC ジャバ	赤坂裕二郎	TSM	66.07	⑧
ABC 共通 4×100mR	新美 泰地	東浦	①大原 康平 ②大崎 慎平 ③和田 瑞輝 ④新美 泰地 42.91	②
	大崎 慎平	安城南		
	和田 瑞輝	田原		
	大原 康平	なごや陸上		

女子

種目	氏名	所属	決勝	順位
A100m	中野 真琴	豊橋東部	12.66	⑦
B100mH	鈴木 瑞希	扇台	14.67	③
B 砲丸投	榊原 梨子	吉良	12.82	⑦
C800m	酒井 美有	栄	2.17.34	③
C 走幅跳	吉村 月乃	東浦	5.08	⑦
ABC ジャバ	奥村 夏姫	牧の池	47.59	⑤
ABC 共通 4×100mR	中野 真琴	豊橋東部	①菅嶋 悠乃 ②中野 真琴 ③長谷川愛樹 ④掛川 栞 47.89	③
	菅嶋 悠乃	AC 一宮		
	掛川 栞	栄		
	長谷川愛樹	なごや陸上		

第26回愛知県小学生陸上競技選手権大会
2012年11月3日(土) 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

少年

(GR:大会記録 *C2:走幅跳セカンドで公認 *C1:追風参考(得点非公認))

種目	1位	2位	3位
4年 50m	松浦 孝之 7.71 作野 AC	鈴木 大河 7.72 TSM	三ヶ尻祐大 7.78 TSM
5年 100m	松田 源 13.56 なごや陸上ク	鳥居 洋介 13.64 安城 JAC	中西 琳哉 13.66 小牧ジュニア
6年 100m	ダニエル河内 12.55 安城 JAC	松下隆之介 12.57 安城 JAC	朝倉 拓海 12.58 安城 JAC
5年 80mH	服部 凱杏 14.34 千代田橋 AC	中村 洋介 14.85 成岩 SC 陸上	

少女 (*C2:走幅跳セカンドで公認 *C1:追風参考(得点非公認))

種目	1位	2位	3位
4年 50m	新庄理子 7.73 豊橋陸上クラブ	月岡百々花 7.91 安城北部 AC	外山花音 7.91 豊橋陸上クラブ
5年 100m	竹崎 郁乃 13.50 安城 JAC	石川 留菜 13.59 安城 JAC	中山 愛理 13.64 東浦 AC
6年 100m	米重 美紅 13.05 豊橋陸上クラブ	宮崎 望 13.29 布袋陸上ク	池田 美琴 13.50 安城 JAC
5年 80mH	八田 彩伽 14.19 作野 AC	石川 姫来 14.39 TSM	岡村 美果 14.41 なごや陸上ク
6年 80mH	蛭川 真未 12.78 成岩 SC 陸上	荒田 和花 13.48 豊橋陸上クラブ	藤田 杏優 13.58 豊橋陸上クラブ
6年 4×100mR	安城ジュニア-A 54.19	田原陸上ク 56.18	TSM-A 56.49
	成瀬 汐七	成田 朱花	羽田 結奈
	浅岡 陽名	鈴木 晴菜	天神 綾音
	池田 美琴	河合 美早	加藤 星良
5年 走高跳	青木 琴子 1.21 TSM	藤城ゆう夏 1.20 豊橋陸上クラブ	筒井 心菜 1.20 豊橋陸上クラブ
6年 走高跳	原 古都美 1.30 豊橋陸上クラブ	井上 寧野 1.30 知立ジュニア	仲井 瑞紀 1.25 なごや陸上ク
4年 走幅跳	三矢 遥菜 3.82 いっしき陸上	吉村 真星 3.59 東浦 AC	糸原 礼華 3.59 東浦 AC
5年 走幅跳	三輪 未来 4.30 なごや陸上ク	安藤 萌衣 4.25 なごや陸上ク	正城 海瑠 4.20 JAC 大府
6年 走幅跳	安藤由梨花 4.43 刈谷 AC	都築 陽奈 4.41 とよた AC	板垣 彩弥 4.28 とよた AC
5年 ソフトボール投	大橋 未奈 36.71 里町 AC	小久保柚希 35.57 JAC 武豊	中島 萌花 35.39 高浜 TSC
6年 ソフトボール投	高田 爽矢 56.67 成岩 SC 陸上	石垣 綾香 49.19 JAC 武豊	山下 夏歩 46.48 今池 AC
6年 二種競技 A	畔柳 幸奈 1730 *C1 安城 JAC	成田 朱花 1559 *C1 田原陸上クラブ	浅田ひなの 1429 *C1 YOUKI 陸上
6年 二種競技 B	富塚日南々 1819 *C1 *C2 JAC 武豊	渡部 純果 1780 JAC 大府	宮川 愛海 1640 安城 JAC

男女混合

種目	1位	2位	3位
4年 4×100mR	豊橋陸上ク-A 58.82 外山 花音 新庄 理子 加藤 大樹 橋本 佑輔	作野 AC-A 1.00.64 内藤 凜 牧野 りえ 谷口 智紀 松浦 孝之	TSM-A 1.01.04 勅使河原詩音 天野ユリヤ 鈴木 大河 三ヶ尻祐大
	安城ジュニア-A 54.62 石川 留菜 竹崎 郁乃 宇野琳太郎 鳥居 洋介	TSM-A 56.77 三宅 真生 落合 胤琉 小柳 界力 笠井 将英	安城ジュニア-B 57.33 石川 真菜 倉山 捺希 佐藤 祥貴 増田 和紀

5	岡崎市立竜海	58.48	岡崎市立六ツ美北	44.04
6	豊田市立前林	58.49	岡崎市立竜南	44.13
7	豊橋市立石巻	58.49	豊川市立西部	44.34
8	岡崎市立竜南	58.54	豊橋市立高豊	44.35
9	岩倉市立岩倉	59.08	岡崎市立甲山	44.44
10	岡崎市立矢作	59.11	豊田市立末野原	44.46

第7回愛知県市町村対抗駅伝競走大会
2012年12月1日(土) 愛・地球博記念公園

順位	市の部		町村の部	
	市	タイム	町村	タイム
1	田原	1.31.07	東浦	1.33.32
2	豊田	1.31.08	幸田	1.38.27
3	岡崎	1.32.36	阿久比	1.39.37
4	名古屋	1.32.47	武豊	1.40.08
5	西尾	1.33.09	東郷	1.41.00
6	豊橋	1.33.16	美浜	1.43.53
7	豊川	1.33.37	蟹江	1.44.11
8	刈谷	1.34.57	大治	1.44.12
9	蒲郡	1.35.14	扶桑	1.46.22
10	知多	1.35.34	大口	1.47.24

平成24年度愛知県高等学校駅伝競走大会
男子第63回・女子第24回全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会
平成24年11月4日(日) 知多運動公園陸上競技場～市道北浜金沢線
(男子:42.195km・女子:21.0975km)

(GR:大会最高記録 NPR:県最高記録)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川	2.04.17NPRGR	豊川	1.08.24
2	豊川工	2.06.29GR	豊川工	1.11.23
3	愛知	2.09.05	岡崎学園	1.12.24
4	中京大中京	2.10.30	中京大中京	1.12.29
5	岡崎城西	2.11.52	千種	1.12.51
6	弥富	2.11.58	至学館	1.14.12

男子 (*:区間新 =:区間タイ記録)

区間	氏名	学校名	記録
第1区(10km)	服部 弾馬	豊川	30.41
第2区(3km)	長谷川佳弘	愛知	8.34
第3区(8.1075km)	カレミジュレミアズク	豊川	*22.42
第4区(8.0875km)	一色 恭志	豊川	*23.51
第5区(3km)	深谷 健斗	豊川工	8.28
第6区(5km)	鈴木 悠日	豊川	15.07
	山藤 篤司	愛知	15.07
第7区(5km)	土屋 貴幸	豊川	=14.53

女子

区間	氏名	学校名	記録
第1区(6km)	鷺見 梓沙	豊川	19.46
第2区(4.0975km)	関根 花観	豊川	13.10
第3区(3km)	堀 優花	豊川	9.34
第4区(3km)	加治屋ななこ	豊川	9.35
第5区(5km)	岩出 玲重	豊川	16.19

第61回愛知県中学校駅伝大会

平成24年11月17日(土) 新城総合公園

[男子] 距離18.05km(6区間) [女子] 距離12.65km(5区間)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川市立東部	57.47	豊川市立東部	43.39
2	岡崎市立東海	58.03	江南市立古知野	43.49
3	岡崎市立南	58.39	西尾市立鶴城	43.57
4	岡崎市立甲山	58.42	稲沢市立祖父江	43.58



田原市チーム



東浦町チーム

区間賞 (○数字は区間を示す)

市の部

- ①鈴木 智子(半田)
- ②平 和真(岡崎)
- ③井幡 政等(大府)
- ④松浦 亜純(清須)
- ⑤飯島 康介(蒲郡)
- ⑥佐々木直之(岡崎)
- ⑥堀 大輝(西尾)
- ⑦鈴木亜由子(豊橋)
- ⑧清田 真央(田原)
- ⑨鈴木 柊成(豊田)

町村の部

- ①猪塚 真希(東浦)
- ②林 辰也(大治)
- ③江本 悟司(東浦)
- ④寒川 夏実(東浦)
- ⑤熊野 雄樹(東浦)
- ⑥種村 光晟(東郷)
- ⑦加古 光江(東浦)
- ⑧村山 菜月(豊山)
- ⑨川 直人(東浦)

モリコロ賞

市の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	蒲郡	22	9	13	1.35.14
2	日進	27	17	10	1.37.53
3	岩倉	37	29	8	1.41.53

町村の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	阿久比	5	3	2	1.39.37
1	美浜	8	6	2	1.43.53
1	大治	10	8	2	1.44.12
1	南知多	15	13	2	1.50.43

2012年駅伝カーニバル

2012年12月9日(日) 庄内緑地公園周回コース

成績(男子一般・男子高校は名岐駅伝出場権獲得チーム)

男子一般

1 TTランナーズ	2.06.12		
(山口 真弘・宍井 一滋・小島 拓也・森下 昌英・平松 弘之・林 育生)			
2 OWLS	2.07.36	5 ウインドアップ	2.08.42
3 TWRC	2.07.52	6 名古屋工業大学	2.09.48
4 三菱重工名古屋	2.08.01		

男子高校

1 国府	1.57.28		
(齊藤 亮弥・島田 涼平・斎藤 弘樹・太田 泰平・岩本 綾平・河合 郁哉)			
2 成章	1.57.34	6 小牧南	1.59.34
3 星城	1.57.52	7 飛騨高山	1.59.43
4 岡崎西	1.59.03	8 豊橋工業	1.59.54
5 渥美農	1.59.09		

女子一般高校

1 愛知教育大 A	1.06.59		
(向井 香瑛・荻野 夏帆・安藤 実来・服部 綾実・鈴木 佑佳)			
2 飛騨高山 A	1.09.00	5 飛騨高山 B	1.12.13
3 光ヶ丘女	1.09.38	6 岡崎東	1.12.17
4 名城 ARC	1.12.10		

男子中学

1 岡崎東海中 A	45.17		
(鈴木 貴博・田邊 隼都・鈴木 崇史・酒井 優仁・渡辺 輝)			
2 竜南中 A	45.38	5 甲山中 A	46.39
3 岡崎南中 A	46.10	6 六ツ美北中 A	46.44
4 竜海中 A	46.21		

女子中学

1 六ツ美北中 A	45.15		
(山田 綾香・畔柳 葉月・藪崎 里奈・牧 李香・平下 美波)			
2 竜南中 A	45.33	5 福岡中 A	46.39
3 甲山中 A	46.02	6 岡崎東海中 A	46.47
4 岡崎南中 A	46.26		

理事会等会議報告

○理事会 24年11月13日(火)18時30分県教育会館

1 協議事項

①平成25年度競技日程について

2 報告・依頼事項

- ①各種栄賞候補者の推薦について
- ②審判員昇格候補者の推薦について
- ③マラソンフェスティバルについて
- ④犬山ハーフマラソンについて
- ⑤名岐駅伝競走大会について
- ⑥キッズプロジェクトについて
- ⑦岐阜国体結果報告
- ⑧日本ジュニア・ユース大会報告
- ⑨全日本中学選手権大会結果報告
- ⑩ジュニアオリンピック大会結果報告

⑪全国小学校大会結果報告

⑫全日本学生対抗陸上大会結果報告

⑬ FUKUI 第28回スーパーレディス駅伝結果報告

⑭各専門委員会報告

- ・施設用器具委員会…瑞穂陸上競技場の整備について
- ・総務委員会…今後の主な諸会議について

○理事会 24年12月11日(火)18時 県教育会館

1 協議事項

- ①全国都道府県対抗女子・男子駅伝の選手選考について
- ②各種栄賞候補者について
- ③愛知県体育協会表彰者について
- ④平成25年度競技会等の日程について
- ⑤役員を選任について

2 報告事項

- ①大会の結果報告
- ②全国強化責任者会議の報告
- ③キッズプロジェクト報告
- ④各専門委員会報告
- ・総務委員会…今後の主な諸会議について

(稲垣 裕)

栄章

平成24年10月5日(金)～9日(火)第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」にて、会場の岐阜メモリアルセンター長良川競技場で表彰式が行われました。日本陸上競技連盟から表彰された方は以下の皆様です。心より祝福申し上げます。



(秩父宮章)…日本陸連・加盟団体への功労者
岡田 武彦(陸協理事・記録委員長)

(高校優秀指導者章)…高校生指導者としての功労者
竹下 幹夫(豊川高校)

(中学優秀指導者章)…中学生指導者としての功労者
小川 實(沓掛中学)

(稲垣 裕)

編集後記

◇新しい年の始まり。今年も名古屋ウィメンズマラソン、全日中、日本ジュニア・ユース選手権大会、東海高校新人陸上など、大きな大会が目白押し。◇注目の中、愛知陸協が一丸となって努力を重ねる必要がある。◇原稿をお寄せいただいた方々に深謝。

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 榊原 英司 寺尾 健
外山みな子 新見 精三 西垣 完彦 野口 一昭
横田小百合